

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

<第24週>

手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

<百日咳>

第24週の報告数は288例と前週の報告数を大きく上回った



病原体情報
P.10-14

麻疹ウイルス 2010年／手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年／ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年



速報
P.15-22

細菌性赤痢－2009年／中国からのH1型麻疹ウイルス輸入症例－札幌市



海外感染症情報

<今週は該当記事はありません>



感染症の話
P.23

<今週はお休みです>



読者のコーナー
<今週は該当記事はありません>



グラフ総覧(24週)
P.24-29



24週のデータ
P.30-42



発生動向総覧

<第24週コメント> 6月23日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核328例

3類感染症

細菌性赤痢3例

菌種: *S. flexneri* (B群) 1例__感染地域: 福島県

菌種: *S. sonnei* (D群) 2例__感染地域: インドネシア1例、ベトナム1例

腸管出血性大腸菌感染症128例(有症者69例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内127例、香港1例

国内の多い感染地域: 三重県43例*、福岡県12例**、大阪府7例、兵庫県7例、東京都6例、埼玉県5例、岩手県4例、奈良県4例、千葉県3例、静岡県3例、島根県3例、宮崎県3例、福井県2例、岡山県2例

*うち42例が第22週から続く三重県の複数の学校(中学・高校)におけるO157 VT2の集団感染

**うち7例が第23週から続く福岡県の保育園におけるO157 VT2の集団感染

年齢群: 0歳(2例)、1歳(2例)、2歳(6例)、3歳(2例)、4歳(3例)、5歳(3例)、6歳(4例)、7歳(1例)、8歳(2例)、9歳(2例)、10代(53例)、20代(17例)、30代(11例)、40代(5例)、50代(10例)、60代(1例)、70代(2例)、80代(2例)

血清型・毒素型: O157 VT2(71例)、O157 VT1・VT2(27例)、O26 VT1(17例)、O103 VT1(2例)、O145 VT2(2例)、O157 VT1(2例)、O157 VT不明(2例)、O74 VT2(1例)、O91 VT1(1例)、O91 VT不明(1例)、その他・不明(2例)

累積報告数: 920例(有症者547例、うちHUS 19例、死亡1例)

腸チフス1例

感染地域: インドネシア

パラチフス1例

感染地域: インド

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域:新潟県1例__感染源:不明

感染地域:中国1例__感染源:ロバの肉

A型肝炎6例

感染地域:神奈川県1例、愛知県1例、兵庫県1例、国内(都道府県不明)2例、インド1例

累積報告数:242例〔劇症肝炎7例__年齢群:40代(1例)、50代(3例)、60代(3例、うち死亡1例)〕

＊第22～24週の当該週の報告数は、それぞれ5例、5例、6例であった。第10～24週の累積報告数は210例(劇症肝炎6例、うち死亡1例)となり、都道府県別では、福岡県26例、東京都25例、広島県24例、兵庫県16例、埼玉県13例、神奈川県12例の順に多い。

つつが虫病3例

感染地域:新潟県1例、長野県1例、沖縄県1例

デング熱4例(デング熱3例、デング出血熱1例)

感染地域:インドネシア3例、フィリピン1例

日本紅斑熱4例

感染地域:和歌山県1例、島根県1例、広島県1例、徳島県1例

ブルセラ症1例

菌種: *B. canis*__感染地域:栃木県

ライム病1例

感染地域:国内(都道府県不明)

レジオネラ症7例(肺炎型7例)

感染地域:宮城県1例、栃木県1例、石川県1例(温泉)、静岡県1例(温泉)、愛知県1例、兵庫県1例、大分県1例

年齢群:50代(1例)、60代(3例)、70代(3例)

5類感染症

アメーバ赤痢7例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域:三重県1例、兵庫県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)4例

感染経路:経口感染1例、性的接触1例(異性・同性間不明)、その他5例

ウイルス性肝炎3例

B型2例__感染経路:性的接触2例(異性間1例、同性間1例)

C型1例__感染経路:不明

急性脳炎3例

病原体不明3例__年齢群:0歳(1例)、9歳(1例)、30代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型3例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群:80代(死亡)

後天性免疫不全症候群16例(AIDS 7例、無症候9例)

感染地域:国内12例、米国1例、国内・国外不明3例

感染経路:性的接触12例(異性間3例、同性間9例)、不明4例

ジアルジア症3例

感染地域:千葉県1例、岡山県1例、シンガポール1例

梅毒10例(早期顕症I期2例、早期顕症II期4例、無症候4例)

破傷風3例

年齢群:50代(1例)、60代(1例)、70代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: *VanB*__菌検出検体:血液/胆汁/便

風しん2例(検査診断例1例、臨床診断例1例)

感染地域:新潟県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群:10～14歳(1例)、20～24歳(1例)

麻しん3例〔麻しん(検査診断例1例、臨床診断例1例)、修飾麻しん(検査診断例1例)〕

感染地域:国内3例

国内の感染地域:東京都1例、静岡県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群:1歳(1例)、10～14歳(1例)、25～29歳(1例)

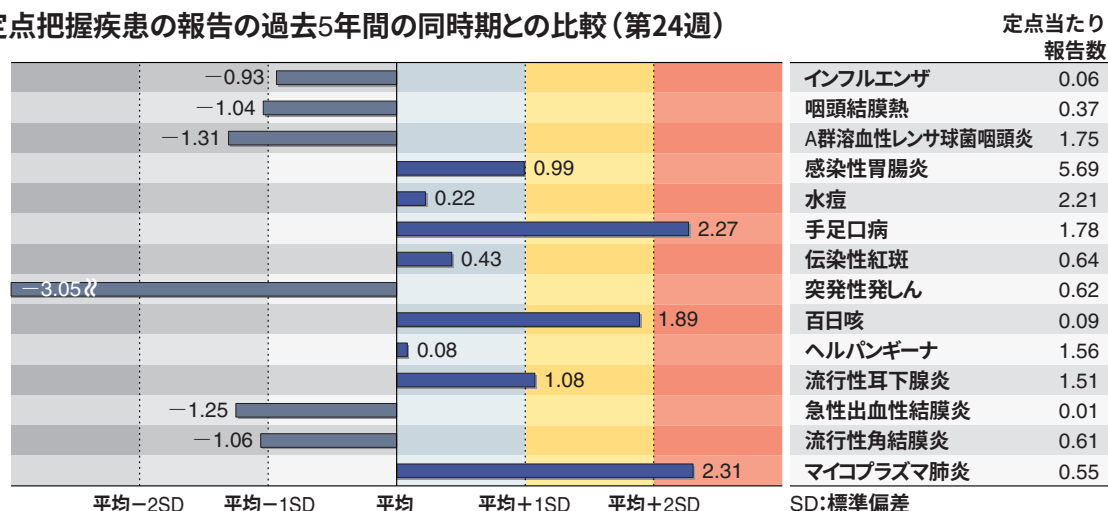
累積報告数:249例〔麻しん(検査診断例95例、臨床診断例80例)、修飾麻しん(検査診断例74例)〕

(補)他に2010年第23週までに診断されたものの報告遅れとして、パラチフス1例(感染地域:フィリピン)、つつが虫病1例(感染地域:岩手県、死亡)、レジオネラ症2例〔感染地域:北海道1例(温泉)、鳥取県1例(温泉)〕、急性脳炎5例〔ヘルペスウイルス1例(30代)、病原体不明4例(3歳、6歳、7歳、10代)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔20代(1例)、50代(1例、死亡)〕などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第24週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(0.34)、山口県(0.30)、福島県(0.23)、岐阜県(0.22)、北海道(0.18)、島根県(0.18)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は169例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では広島県(0.99)、宮城県(0.84)、大分県(0.72)、滋賀県(0.63)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(4.1)、山形県(4.1)、石川県(3.9)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。都道府県別では大分県(10.0)、島根県(8.9)、宮崎県(8.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(3.64)、新潟県(3.61)、福井県(3.32)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では山口県(8.6)、大分県(6.4)、高知県(6.1)、宮崎県(5.6)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(2.41)、千葉県(1.78)、秋田県(1.66)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では栃木県(0.43)、茨城県(0.39)、千葉県(0.27)、岩手県(0.25)、東京都(0.23)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では徳島県(4.5)、秋田県(4.3)、宮崎県(4.3)が多い。

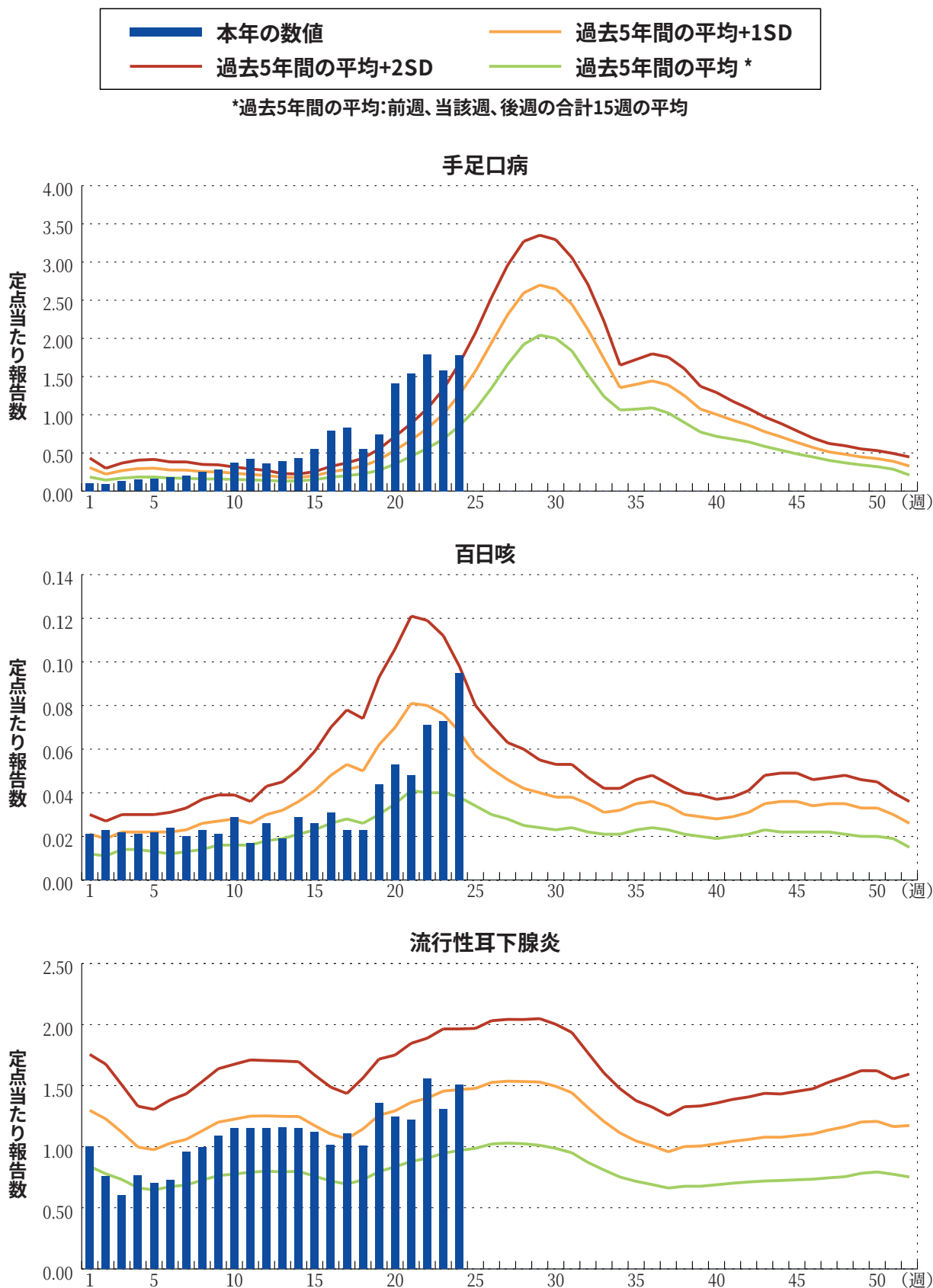
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では和歌山県(3.68)、石川県(3.41)、宮崎県(3.25)、福島県(3.17)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では福島県(3.57)、埼玉県(3.44)、青森県(3.00)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2010年第24週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆百日咳

百日咳は、好気性のグラム陰性桿菌である百日咳菌(*Bordetella pertussis*)の感染を原因とする急性の呼吸器感染症である。特有のけいれん性の咳発作(痙咳発作)を特徴としており、母親からの移行抗体が有効に働かないために乳児期早期から罹患する可能性があり、ことに百日咳(P)ワクチンを含んだDPT三種混合ワクチンを接種していない生後6カ月以下の乳児が罹患した場合は、未だに死に至る危険性がある疾患である。百日咳はこれまで乳幼児を中心とした小児で流行する疾患とされてきたが、最近では小児科定点報告疾患であるにもかかわらず20歳以上の成人例の報告数が年々増加してきており、かつての乳幼児を中心に流行する疾患と呼ぶには相応しくない状況となりつつある。成人の発生例は咳が長期にわたって持続するものの、乳幼児にみられるような重篤な痙咳性の咳嗽を示すことは稀であり、症状が典型的ではないために診断が見逃されやすく、感染源となって周囲へ感染を拡大してしまうこともあり、注意が必要である。治療薬としてはマクロライド系抗菌薬が第一選択である。早期に抗菌薬を処方すれば、症状の軽減と菌排出期間(無治療の場合は3週間前後)の短縮が期待できる。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告数に基づいて百日咳の患者発生状況の分析を行っている。2010年第24週の週別の患者報告数は288例(定点当たり報告数0.09)と前週の報告数(220例)を大きく上回った(図1)。都道府県別では、千葉県34例、東京都34例、神奈川県32例、茨城県29例、栃木県20例、大阪府16例、埼玉県11例、新潟県11例、福岡県11例の順となっており、関東地域に報告数の多い都県が集中しているが、大阪府、新潟県、岩手県等他の府県においても報告数の増加がみられている(図2)。

図1. 百日咳の年別・週別発生状況(2000～2010年第24週)

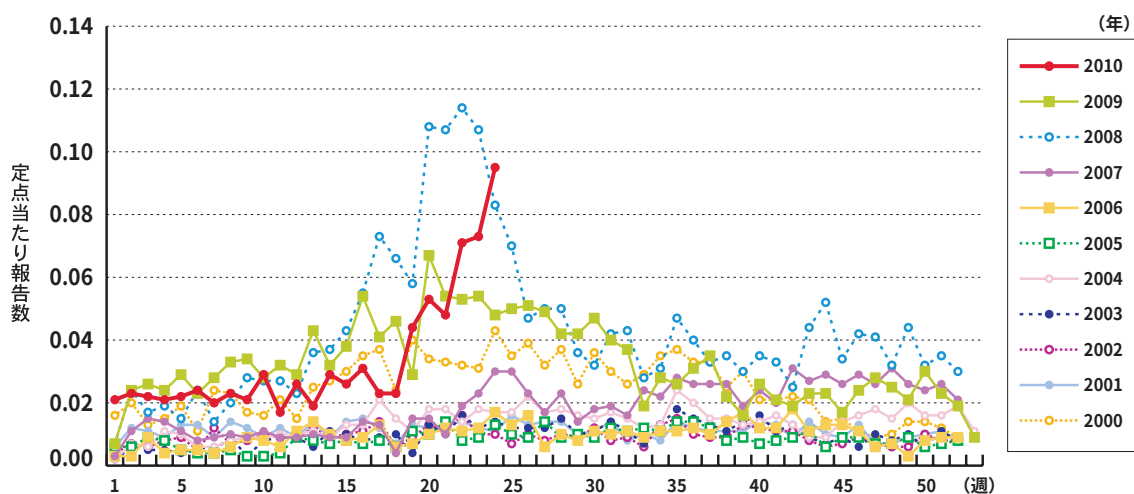
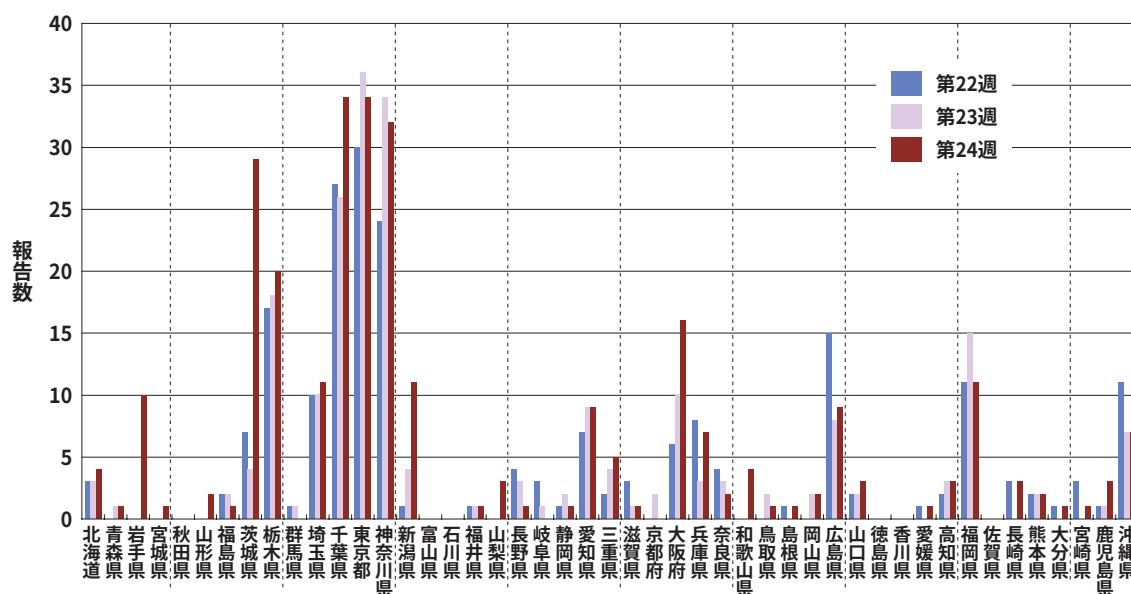


図2. 百日咳の都道府県別報告数の推移(2010年第22～24週)



2010年第1～24週までの累積報告数は2,421例であり、男女別では男性41.3%(1,001例)、女性58.7%(1,420例)と女性の報告割合が高く、0歳児では男性の報告割合が高いものの、20歳以上では女性の報告割合が60%以上を占めている。年齢群別では、20歳以上51.3%(1,241例)、0歳9.3%(226例)、1歳4.6%(111例)、2～3歳8.2%(198例)、4～5歳7.6%(185例)となっている。小児科定点からの報告であるにもかかわらず、20歳以上の報告割合が年々増加し、2010年では半数以上となっているが、19歳以下で最も多数を占めているのは0歳児である(図3、図4)。

図3. 百日咳累積報告数の年齢群別割合(2010年第1～24週)

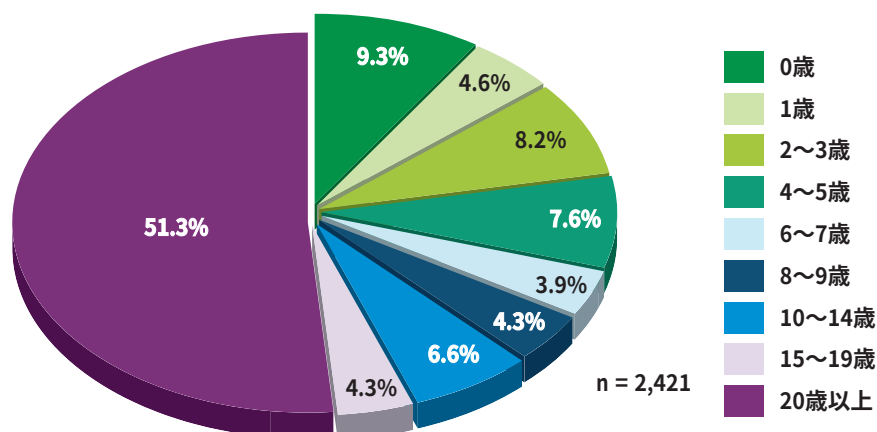
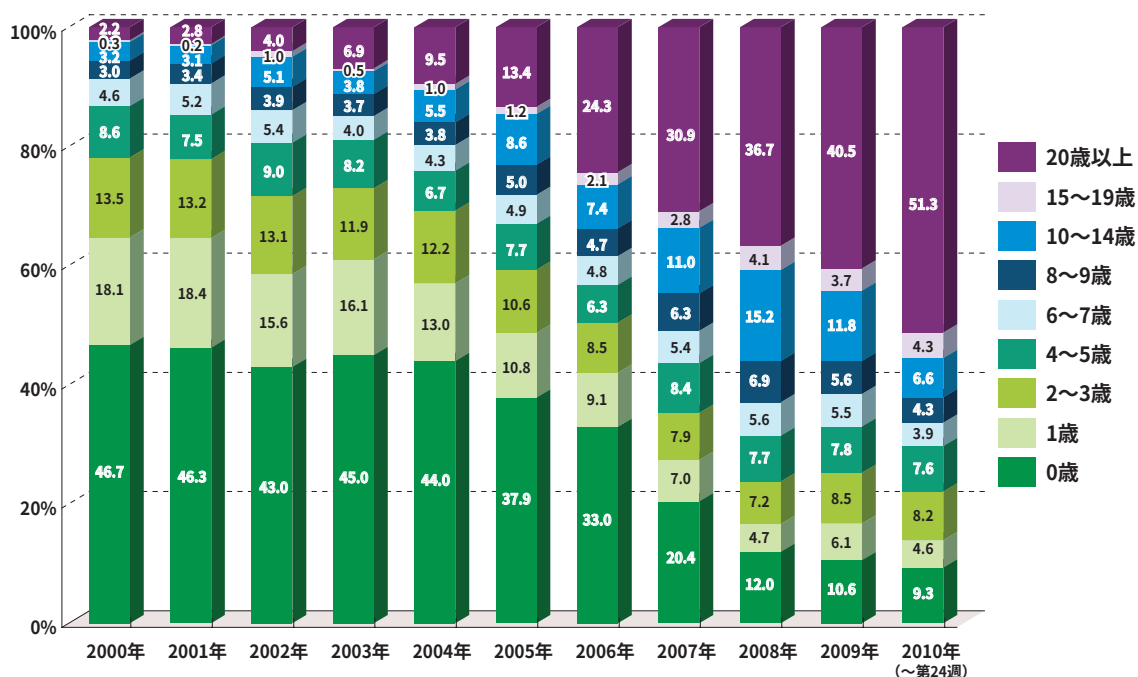


図4. 百日咳の年別・年齢群別割合(2000～2010年第24週)



感染症情報センターでは、成人層を中心とした患者発生状況の実態をより明らかにすることを目的として、2008年5月から「百日咳DB：全国の百日咳発生状況」(<http://idsc.nih.go.jp/disease/pertussis/pertu-db.html>)を立ち上げ、感染症発生動向調査とは別に解析を行っている。2008年5月8日から2010年3月12日までに同DBに報告された779例(後に百日咳を否定された2例を除く)においても同様に、20歳以上の報告数が多くを占めている(<http://idsc.nih.go.jp/disease/pertussis/DB/s-100331.pdf>)。

2008年は第22週、2009年は第20週がピークとなり、以降は減少傾向となったが、2010年は第24週まで増加傾向が続いている。百日咳はワクチン未接種の乳幼児が罹患した場合には重症化しやすく、ことに新生児乳児では生命に危険が及ぶことも稀ではない。本症はかつては乳幼児を中心に夏季に流行する疾患であったが、最近では成人層の患者発生の割合が年々高くなってきており、2010年には半数以上を占めるに至っており、小児への感染源としても危惧される。今後とも百日咳の発生動向には注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

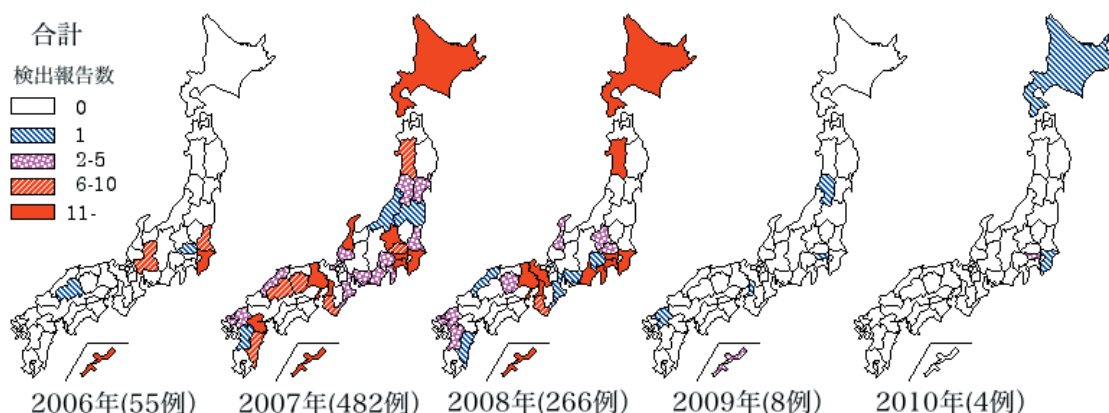
(2010年6月24日現在報告分)

◆麻疹ウイルス 2010年

2010年2～5月に北海道、千葉県、東京都の3都道県から4件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2006～2010年

(病原微生物検出情報: 2010年6月24日現在報告数)



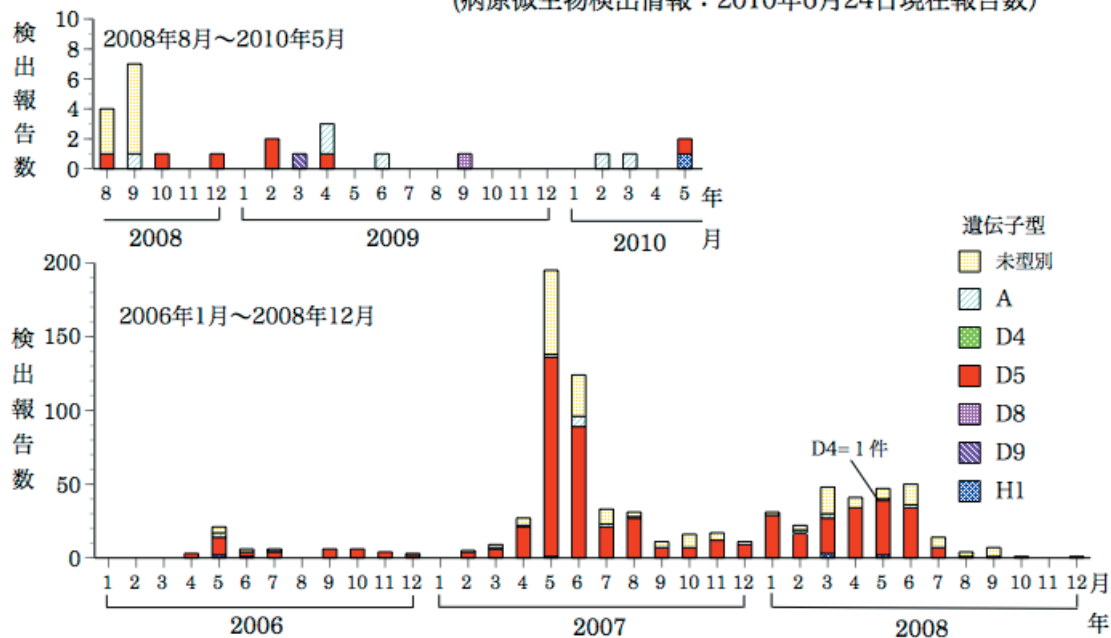
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



5月に千葉県の麻疹患者からD5型が1件、北海道で中国から入国後発症した麻疹患者からH1型が1件(本号22ページ「速報」参照)検出されている。また、東京都で発疹症患者からA型(ワクチンタイプ)が2月に1件(ワクチン接種後9日後に採取された検体から)、3月に1件(ワクチン接種歴不明)検出されている。

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2010年5月

(病原微生物検出情報: 2010年6月24日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

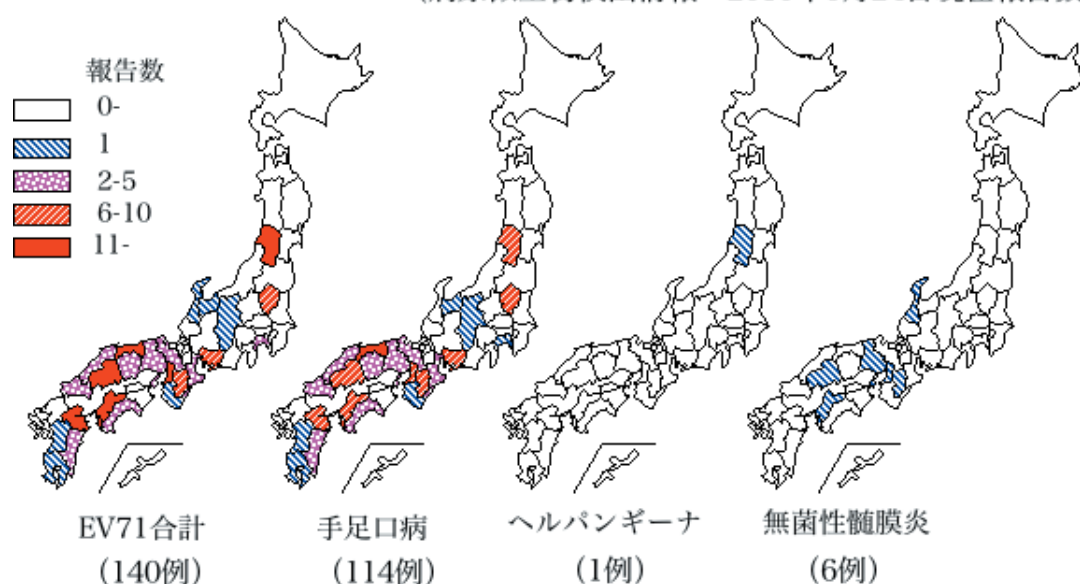
Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html> を参照ください。

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年

エンテロウイルス71型(EV71)は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年に入ってから例年より早い時期に検出されており、第24週までに鳥取県20件、大阪府、広島県、大分県各13件、山形県、愛媛県各12件(前号16ページ「速報」参照)、愛知県、奈良県各8件、栃木県6件、三重県、京都府、島根県各5件など西日本を中心に24府県から140件の検出が報告されている。このうち、手足口病患者から114件、無菌性髄膜炎患者から6件、ヘルパンギーナ患者から1件が検出されている。

都道府県別診断名別エンテロウイルス71型分離・検出報告状況、2010年
(病原微生物検出情報: 2010年6月24日現在報告数)

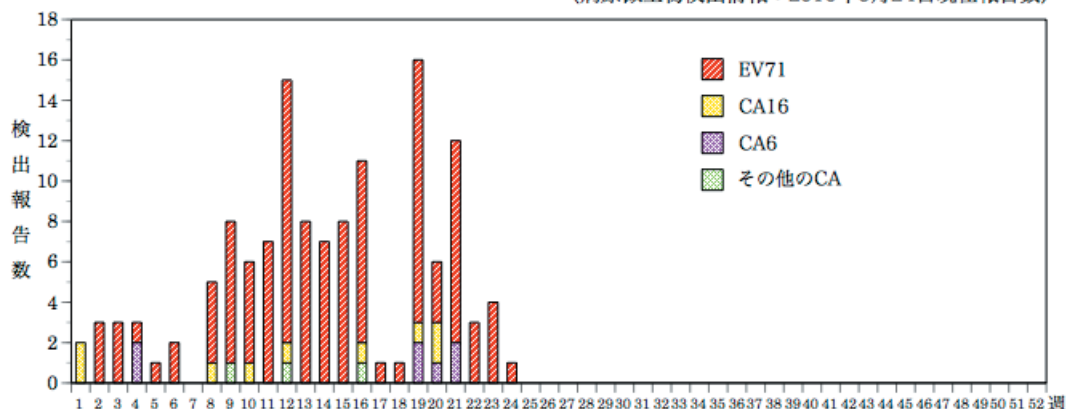


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2010年

(病原微生物検出情報: 2010年6月24日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

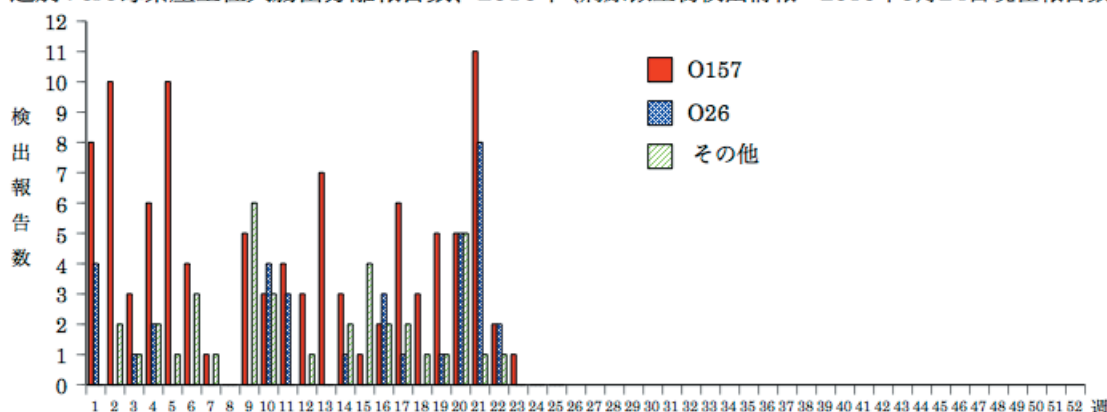
Infectious Agents Surveillance Report

EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス(CA)16型9件(山形県6件、神奈川県2件、愛媛県1件)、CA6型7件(秋田県4件、神奈川県3件)、CA5型2件(島根県)、CA4型1件(大阪府)が報告されている。

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～23週までの検出総数は177件で、第9～10週に山形県の老人ホームでの集団発生からO111(VT1)が7件検出されている。第3週に大阪府でインドネシアへの渡航者、第6週に千葉県でニュージーランドへの渡航者、第16週に静岡県でベトナムへの渡航者各1例からO157が検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2010年(病原微生物検出情報: 2010年6月24日現在報告数)



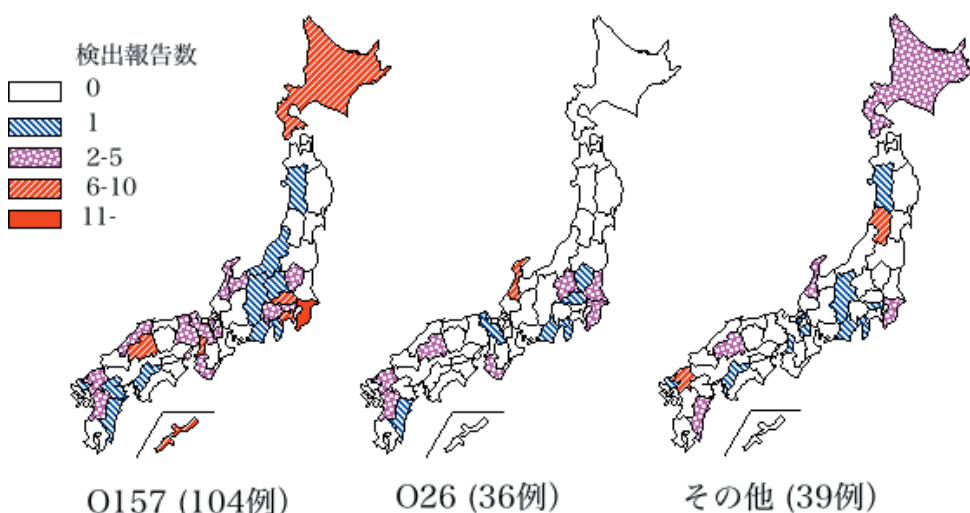
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

2010年1～6月にO157が28都道府県から104件、O26が13府県から36件、その他の血清型が15都道府県から39件(このうち、O91が9道府県から12件、O111が2県から8件)報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2010年

(病原微生物検出情報: 2010年6月24日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

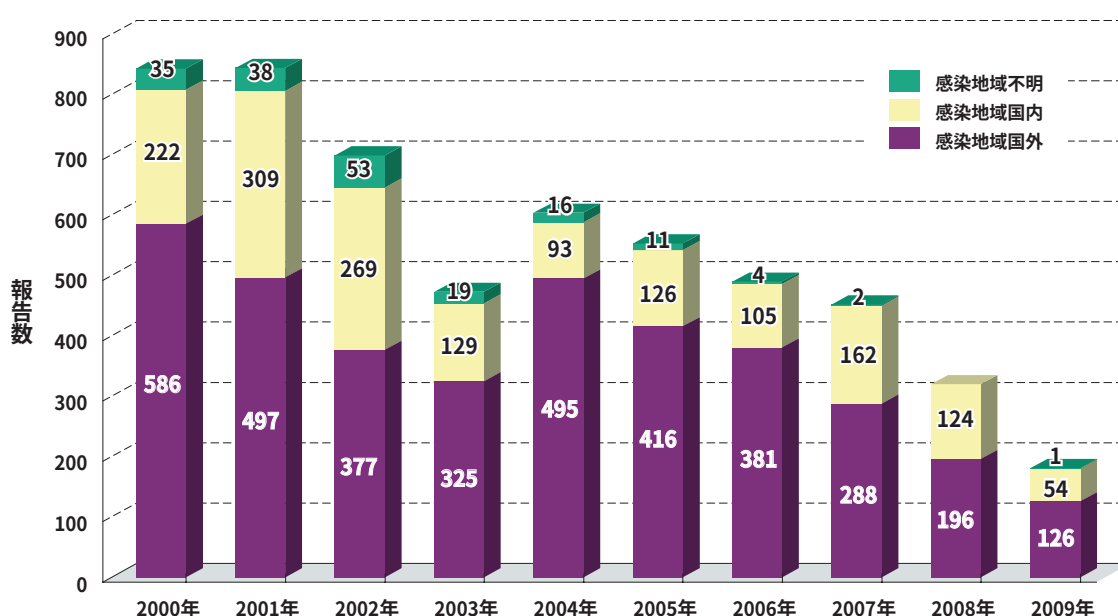
◆細菌性赤痢－2009年（2010年4月5日現在）

細菌性赤痢は通常1～3日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1～2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状が出現する腸管感染症である。原因菌は *Shigella* 属の4つの菌種 (*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*) である。菌種は亜群とも呼ばれ、それぞれA群、B群、C群、D群に該当する。通常、*S. dysenteriae*、*S. flexneri* は典型的な赤痢症状を起こすことが多いが、*S. sonnei* では軽度の下痢、あるいは無症状で経過することが多いとされる。

細菌性赤痢は1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。2007年4月施行の法改正により、細菌性赤痢は3類感染症に変更され、患者及び無症状病原体保有者が届出対象（疑似症患者は対象外）となった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見される。

感染症法のもとで届け出られた細菌性赤痢の過去の年間累積報告数は、2000年843例、2001年844例、2002年699例、2003年473例、2004年604例、2005年553例、2006年490例、2007年452例、2008年320例であり、2009年の報告数(2009年第1～53週に診断されたもの)は181例であった(図1)。それらのうち、患者(有症状者)は168例、無症状病原体保有者は13例であった。性別では男性87例、女性94例で、年齢中央値は30歳(0～85歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内54例、国外126例、不明1例であった。死亡例の報告はなかった(但し、届出時点以降での死亡については届出義務がないので十分反映されていない可能性があり、届出時点以降での患者が死亡した場合の追加報告を届出医師や自治体に依頼している)。

図1. 細菌性赤痢の年別感染地域別発生状況(2000～2009年)

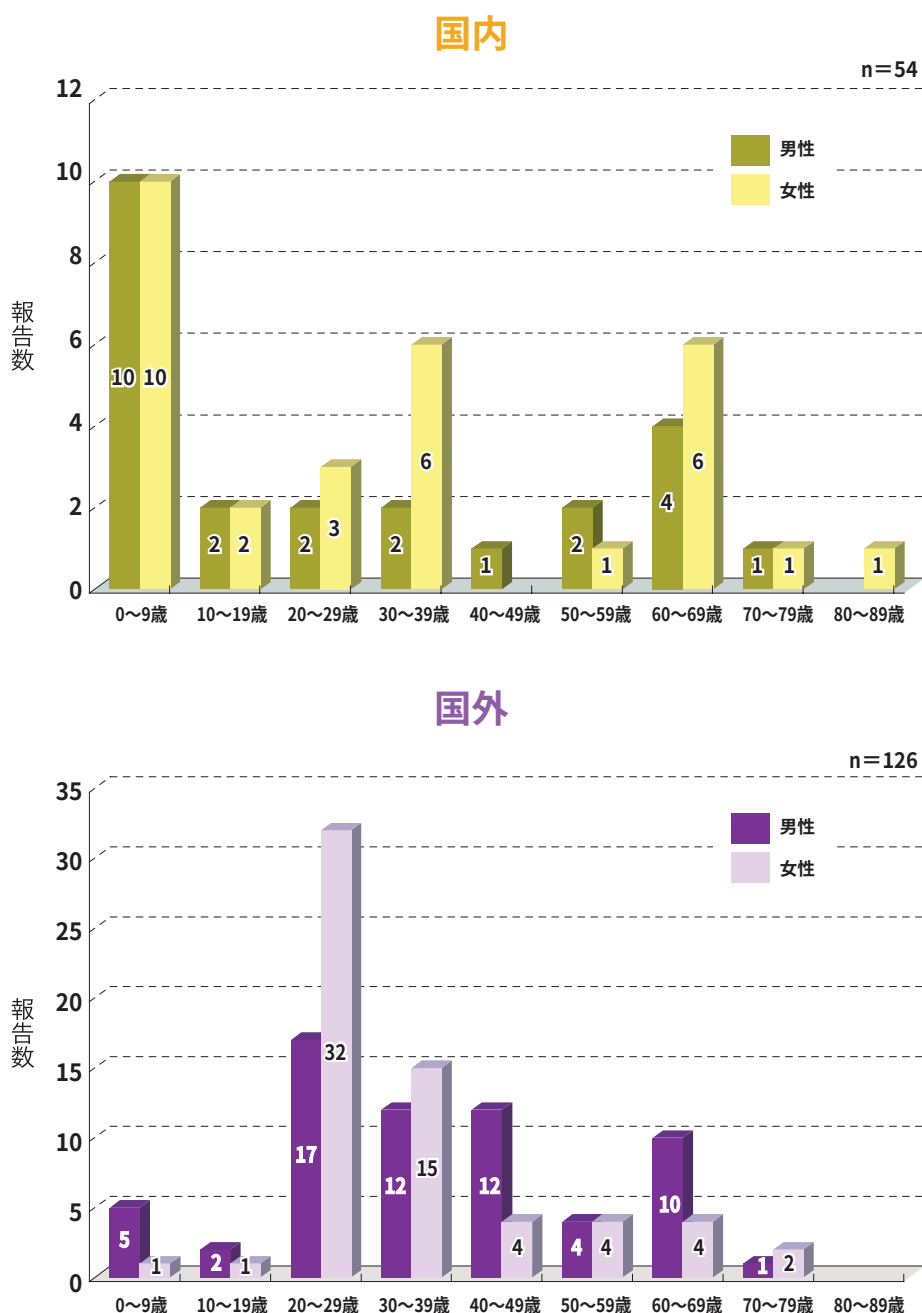


国内感染例:

国内を感染地域とする報告は54例であった。23都府県から報告があり、東京都(11例)、三重県(6例)、神奈川県(5例)、群馬県(4例)の順に多く、また、感染地域の都道府県としては、東京都(7例)、三重県(6例)、群馬県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岡山県(各3例)の順であった。2009年は小規模な家族内感染事例を除き、国内での集団感染事例はなかった。

54例の性別は男性24例、女性30例で、年齢中央値は25.5歳(0～85歳)(男性のみ21歳、女性のみ29歳)であった。年齢群別では、10歳未満20例、10代4例、20代5例、30代8例、40代1例、50代3例、60代10例、70代2例、80代1例であり、10歳未満、60代、30代の順に多かった(図2)。

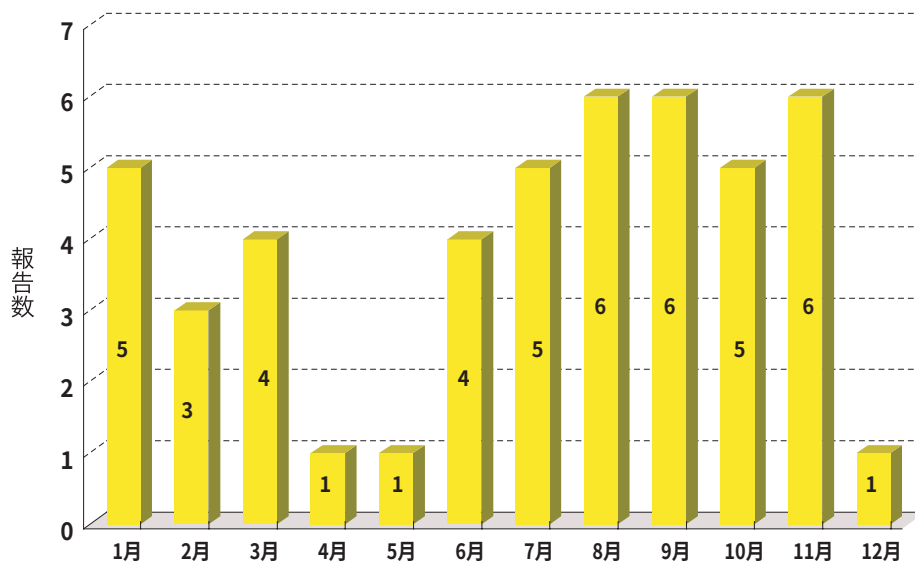
図2. 細菌性赤痢の性別・年齢群別・感染地域別報告数(2009年)



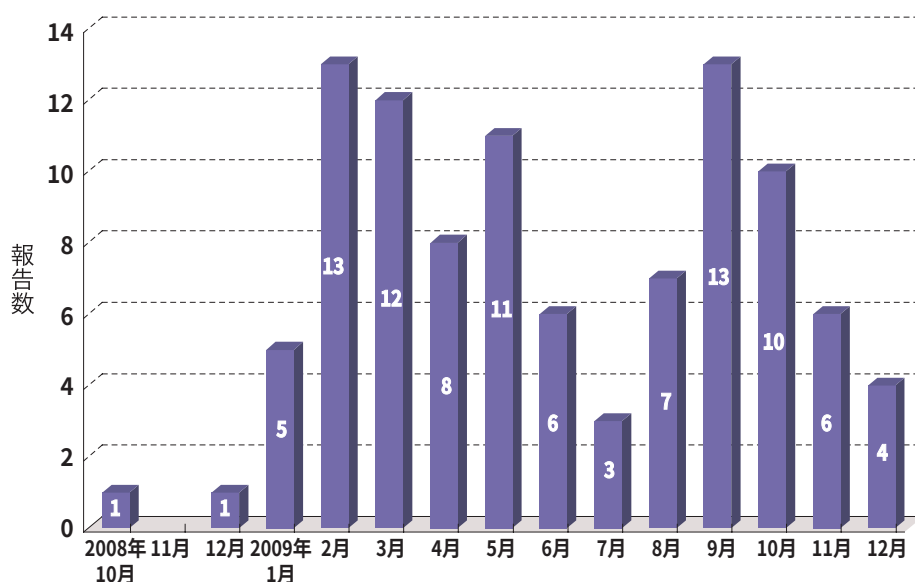
発病月は、4、5、12月が各1例であった以外、毎月3～6例の報告がされており、目立った季節性はみられなかった(図3)。

図3. 細菌性赤痢の感染地域別・発症月別報告数(2009年)

国内 n=47 (無症状病原体保有者、発症月不明計7例を除く)

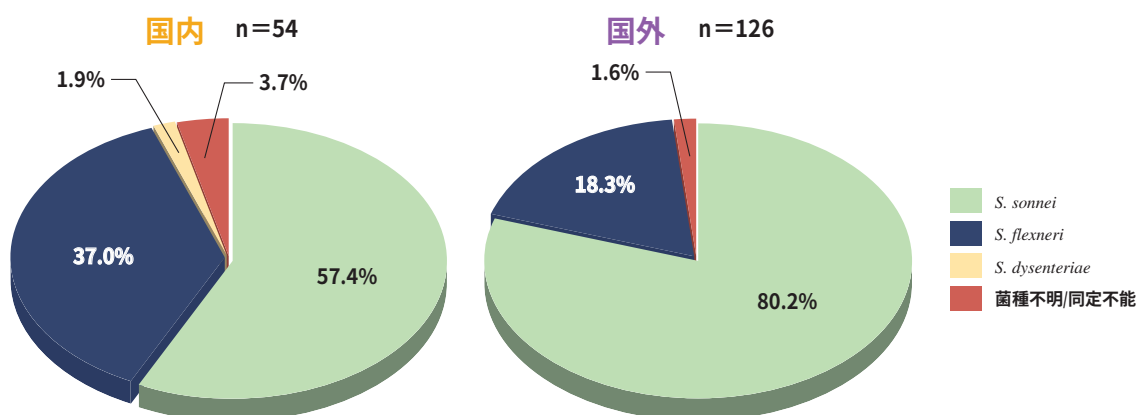


国外 n=100 (無症状病原体保有者、発症月不明計26例を除く)



検出された菌種は、*S. sonnei* 31例、*S. flexneri* 20例、*S. dysenteriae* 1例、菌種不明2例であった(図4)。

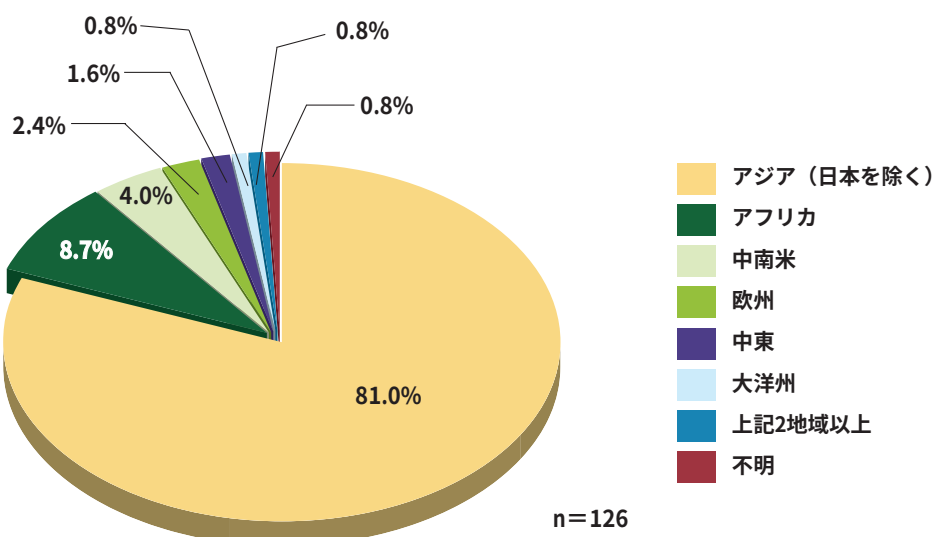
図4. 細菌性赤痢の感染地域別にみた菌種割合(2009年)



国外感染例:

国外を感染地域とする報告は126例であった。感染地域別では、従来どおりアジアが102例(81.0%)と際立って多く、次いでアフリカ11例(8.7%)であった(図5)。国別では、アジア地域ではインド、インドネシア、ベトナム、カンボジア、ネパールの順に多いが、これに次いでアフリカのエジプトが多かった(表1)。報告数の多い感染地域や感染国の傾向は、従来とほぼ同様であった。

図5. 細菌性赤痢の国外感染例の感染地域分布(2009年)



126例の性別は男性63例、女性63例で、年齢中央値は31歳(1～78歳)(男性のみ34歳、女性のみ29歳)であった。年齢群別では、10歳未満6例、10代3例、20代49例、30代27例、40代16例、50代8例、60代14例、70代3例であり、特に20代、30代が多い傾向は従来どおりであった(図2)。

発病月は、2月と9月(各13例)、3月(12例)、5月(11例)が多く(図3)、2月の13例中6例はインドネシアバリ島旅行者での集団感染であった(<http://idsc.nih.gov/iasr/30/358/dj3581.html>)。

検出された菌種は、*S. sonnei* 101例、*S. flexneri* 23例、菌種不明2例であった(図4)。日本を含む感染国別の報告数を、菌種別に表に示した(表1)。

表1. 細菌性赤痢の感染地域・感染国別にみた菌種別報告数(2009年)

		A群 <i>S. dysenteriae</i> n=1	B群 <i>S. flexneri</i> n=44	C群 <i>S. boydii</i> n=0	D群 <i>S. sonnei</i> n=132	菌種不明 /同定不能 n=4	計 n=181
国内		1	20	0	31	2	54
国外		0	23	0	101	2	126
アジア	アジア(日本を除く)	0	18	0	82	2	102
	インド		8		23 (26)	1 (2)	32 (36)
	インドネシア		3 (4)		16		19 (20)
	ベトナム		2		12 (14)		14 (16)
	カンボジア		1		6 (8)		7 (9)
	ネパール		2		5 (6)		7 (8)
	フィリピン		1		4		5
	中国				4 (5)	0 (1)	4 (6)
	タイ				3 (6)		3 (6)
	マレーシア				2		2
	パキスタン				1		1
	シンガポール		0 (1)				0 (1)
アフリカ	アフリカ計	0	2	0	9	0	11
	エジプト		1		5		6
	アルジェリア		1				1
	ギニア				1		1
	タンザニア				1		1
	チュニジア				1		1
	ブルキナファソ				1		1
中南米	中南米計	0	1	0	4	0	5
	コロンビア		1		0 (1)		1 (2)
	エクアドル				1		1
	チリ				1		1
	ペルー				1		1
	メキシコ				0 (1)		0 (1)
	プエルトリコ				0 (1)		0 (1)
欧州	欧州計	0	0	0	3	0	3
	ロシア				2		2
	ウズベキスタン				1		1
中東	中東計	0	1	0	1	0	2
	イエメン		1				1
	トルコ				1		1
大洋州	大洋州計	0	0	0	1	0	1
	フィジー				1		1
その他 (上記2地域以上 および国不明)	その他計	0	1	0	1	0	2
	エジプト/ アラブ首長国連邦		1				1
	国不明				1		1
国内外不明		0	1	0	0	0	1

* 国ごとの集計において、() 外の数値はその国のみを感染地とする報告数、() 内の数値はその国のみとその国を含む複数国を感染地とする報告数の合計

国外感染例の診断及び報告数の増減に関しては、流行の発生や流行地への渡航者数など様々な要因の関与が考えられるが、検疫法改正によりコレラが検疫感染症でなくなったことから、2007年6月以降は、検疫所で下痢などの申し出のあった者に対する検便が実施されなくなった。有症状者であっても、症状が軽いなどの理由で入国後に医療機関を受診しない者もいることが予測されるので、この点も報告数減少に影響する一要因として考慮する必要があると考えられる。検疫所からの届出は、2006年(4月～)は国外感染例として報告された283例中105例、2007年は288例中81例(うち1～5月が71例)、2008年は196例中なし、2009年も126例中1例もなかった。

症状:

患者168例について、報告された症状をみた。届出票にあらかじめ記載されている症状では、下痢164例(97.6%)、発熱112例(66.7%)、腹痛98例(58.3%)、膿粘血便30例(17.9%)、しぶり腹27例(16.1%)であった(表2)。膿粘血便は、原因菌種が *S. flexneri* の症例(27.9%)で *S. sonnei* の症例(14.2%)に比して高率であり、しぶり腹も *S. flexneri* (27.9%)が *S. sonnei* (12.5%)よりも高率であった。また、その他の症状として自由記載されていたものでは、嘔気・嘔吐12例(7.1%)が多かった。

一方、無症状病原体保有者13例の菌種は、*S. sonnei* 12例(同菌種総数132例の9.1%)、*S. flexneri* 1例(同44例の2.3%)であった。

表2. 細菌性赤痢患者(有症状者)の菌種別臨床症状報告数(2009年)

n=168

	<i>S. dysenteriae</i> n=1	<i>S. flexneri</i> n=43	<i>S. boydii</i> n=0	<i>S. sonnei</i> n=120	菌種不明/ 同定不能 n=4	総数 n=168
下痢	1	41	0	118	4	164
発熱	0	31	0	77	4	112
腹痛	1	22	0	71	4	98
膿粘血便	0	12	0	17	1	30
しぶり腹 (テネスマス)	0	12	0	15	0	27
嘔気・嘔吐	0	3	0	8	1	12
頭痛	0	0	0	2	0	2

複数回答あり

赤痢菌は腸管出血性大腸菌と同様に、微量の菌により感染が成立するため、感染が拡大しやすく、健康被害も生じやすい。特に小児や高齢者では重症化しやすいので注意が必要である。近年日本で発生している細菌性赤痢の半数以上は国外感染であり、国内感染についてはそれらの国外感染者からの二次感染や輸入食品の汚染による国内感染が推測されている。細菌性赤痢の感染予防策としては、十分な加熱調理や石鹸による手洗いの励行が基本である。渡航に際しては、渡航先の流行状況を把握すると共に、流行地へ渡航する場合には生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。さらに二次感染を防ぐためには、患者や無症状病原体保有者を早期に探知して治療し、排菌しなくなったことを確認する必要がある。

(補)細菌性赤痢のサルへの報告

細菌性赤痢はサルの間にも感染がみられ、ヒトへの感染源となり得るため、2004年10月1日施行の感染症法施行令の改正により、細菌性赤痢のサルを診断した獣医師に届出が義務づけられた。2004年には報告はなく、2005年に5都道府県から45例、2006年に6都道府県から45例、2007年には3都道府県から51例、2008年には4都道府県から29例、2009年には2県から34例の報告(2010年4月5日現在)があった。報告されたサルのほとんどは輸入後の検疫(法定検疫または自主検疫)によって発見されたものである。

◆中国からのH1型麻疹ウイルス輸入症例－札幌市

2010年5月、札幌市内の医療機関で麻疹と診断された患者からH1型麻疹ウイルスを検出したので報告する。

患者は中国籍の女性(20代、北京在住)で、5月1日に観光目的で来札し、知人宅に滞在していた。5月6日朝から頭痛、夕方に発熱を呈し、7日に咳、8日に発疹が出現した。さらに10日には、コプリック斑、結膜充血および鼻汁が認められ、市内の医療機関において臨床症状より麻疹と診断された。なお、患者のワクチン接種歴は不明であった。

5月13日に採取された患者の咽頭ぬぐい液、末梢血単核球および尿を用いてRT-nested PCR法による麻疹ウイルス遺伝子の検出を試みた。その結果、すべての検体で麻疹ウイルスのHおよびN遺伝子が増幅された。増幅されたN遺伝子の部分塩基配列はすべて一致し、系統樹解析によりH1型麻疹ウイルスと同定された。GenBankに登録されている株との相同性検索では、N遺伝子472塩基について、上海で分離されたMVi/Shanghai.PRC/22.06/11(DQ902857)と100%の相同性を示した。また、レファレンスセンターである北海道立衛生研究所にて実施しているウイルス分離では末梢血単核球と尿から麻疹ウイルスが分離されており、抗体検査では麻疹IgM>14.03と強陽性を示した。

今回の患者は海外からの輸入症例と考えられた。届出後、患者の行動調査を実施したうえで、感染機会があったと推定される対象者への注意喚起・健康状況確認を行った結果、6月22日現在、本症例からの二次感染例は確認されていない。今後、本邦における麻疹発生数の低下にともない、輸入症例への注意が必要になると同時に、麻疹ウイルスの分子疫学がさらに重要になるとと思われる。

札幌市衛生研究所

菊地正幸 村椿絵美 扇谷陽子 伊藤はるみ 高橋広夫 三觜 雄

北海道立衛生研究所

長野秀樹 駒込理佳 三好正浩 岡野素彦

(IASR 2010年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



感染症の話

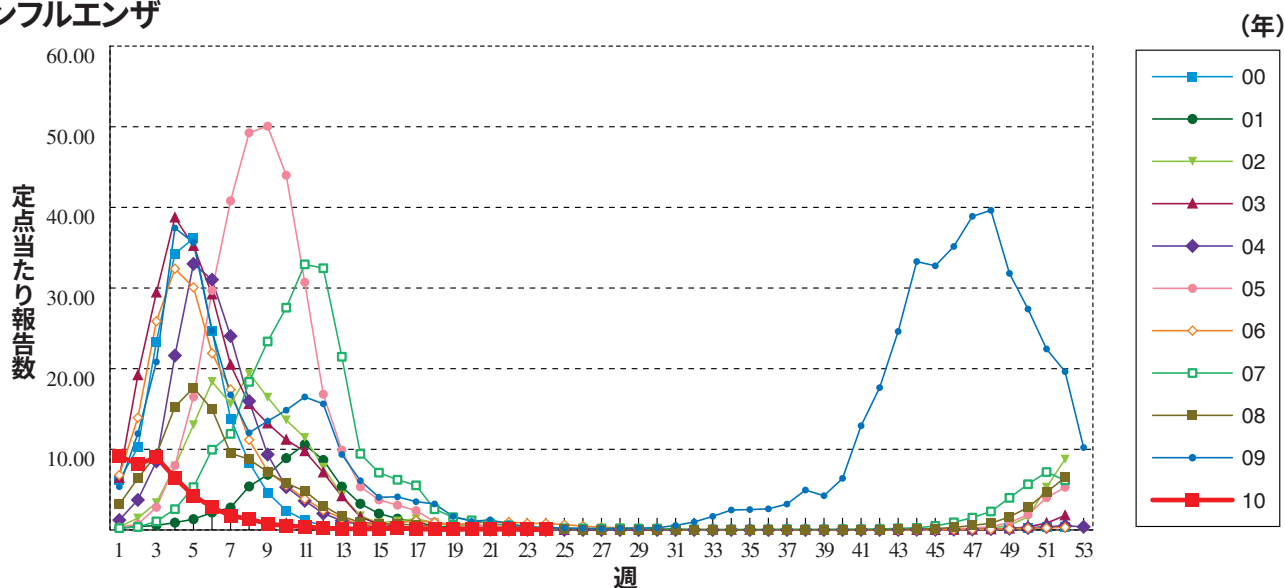
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

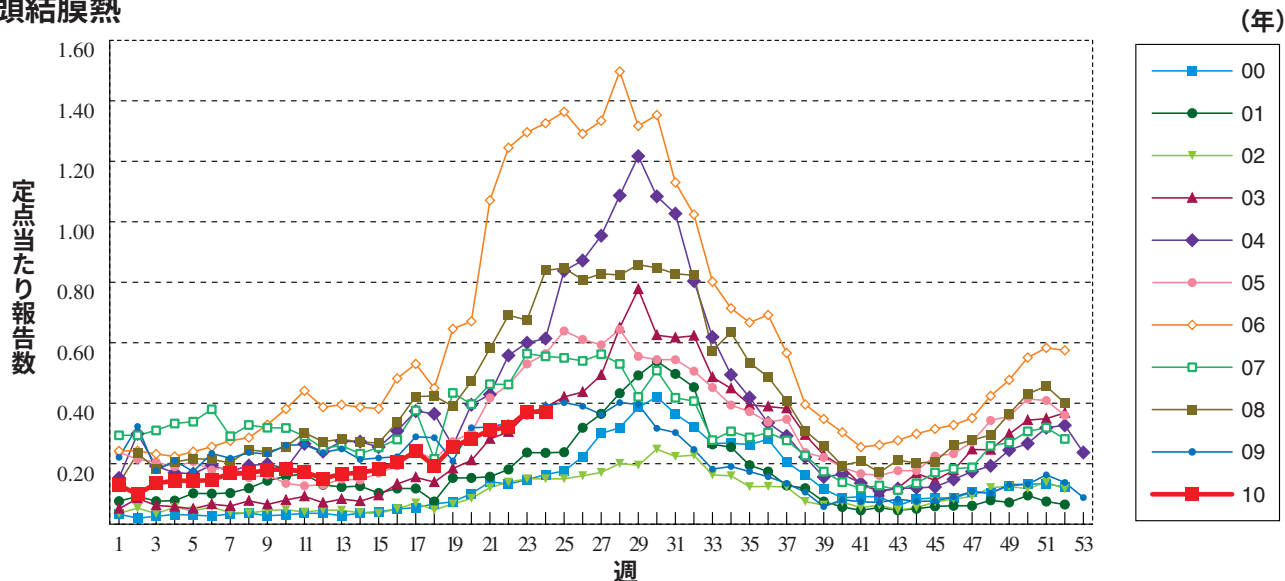


グラフ総覧(24週)

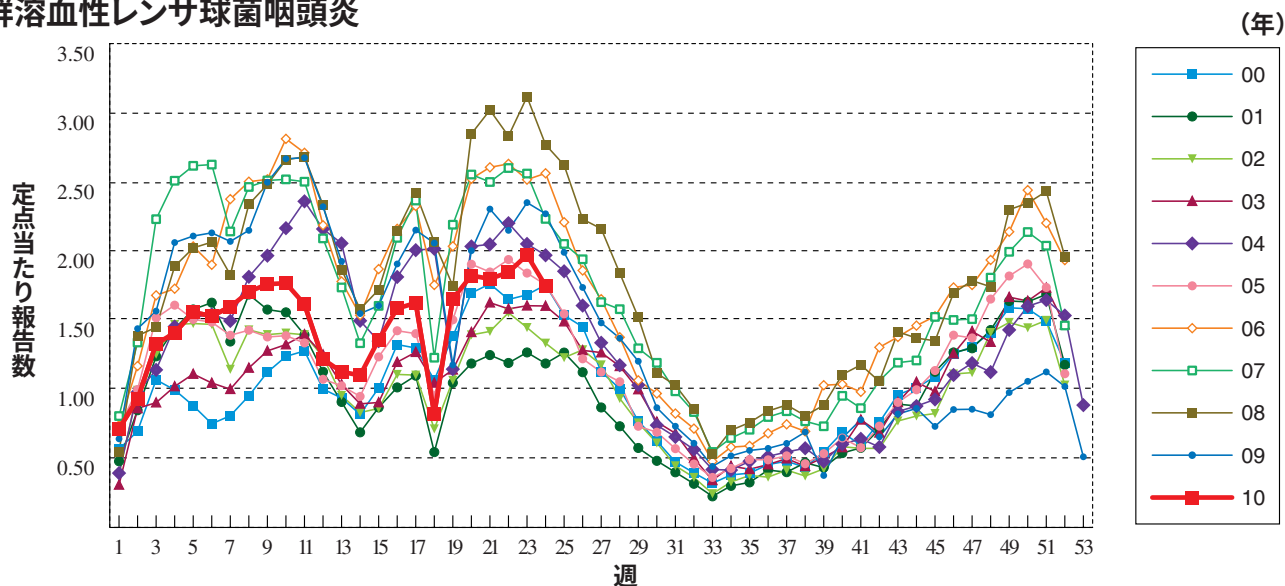
インフルエンザ



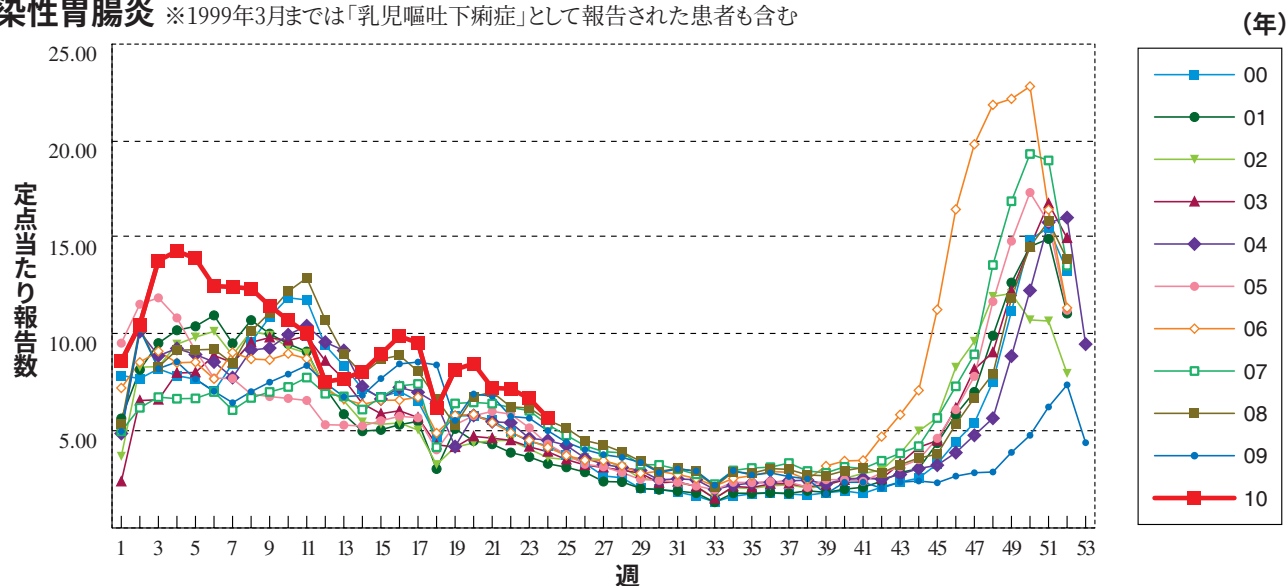
咽頭結膜熱



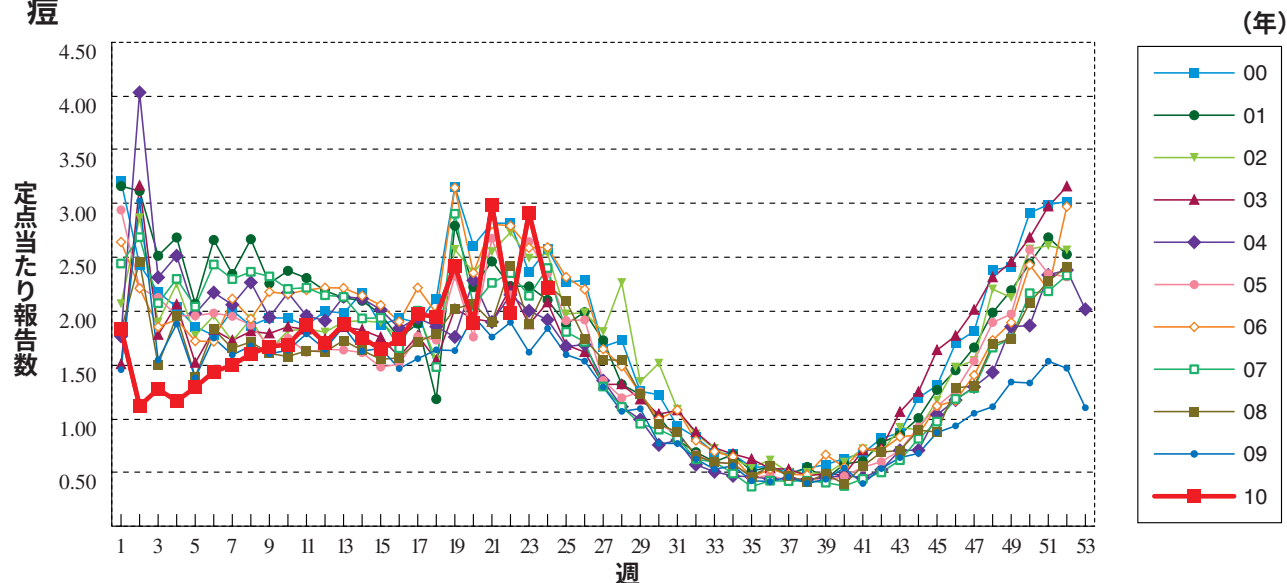
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



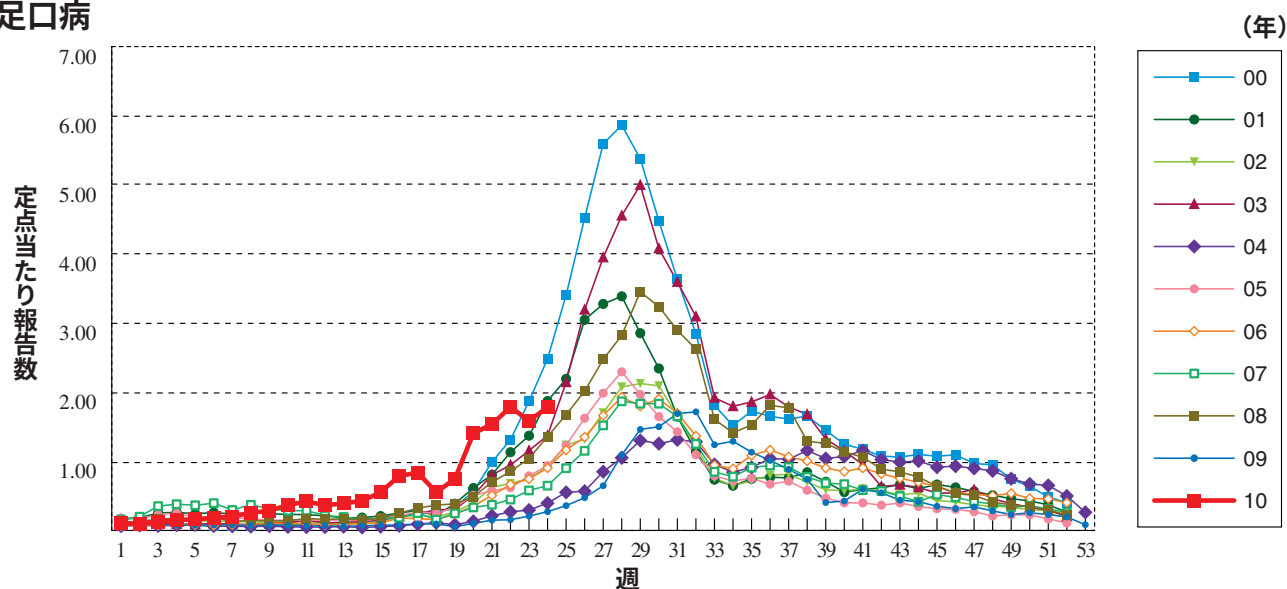
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



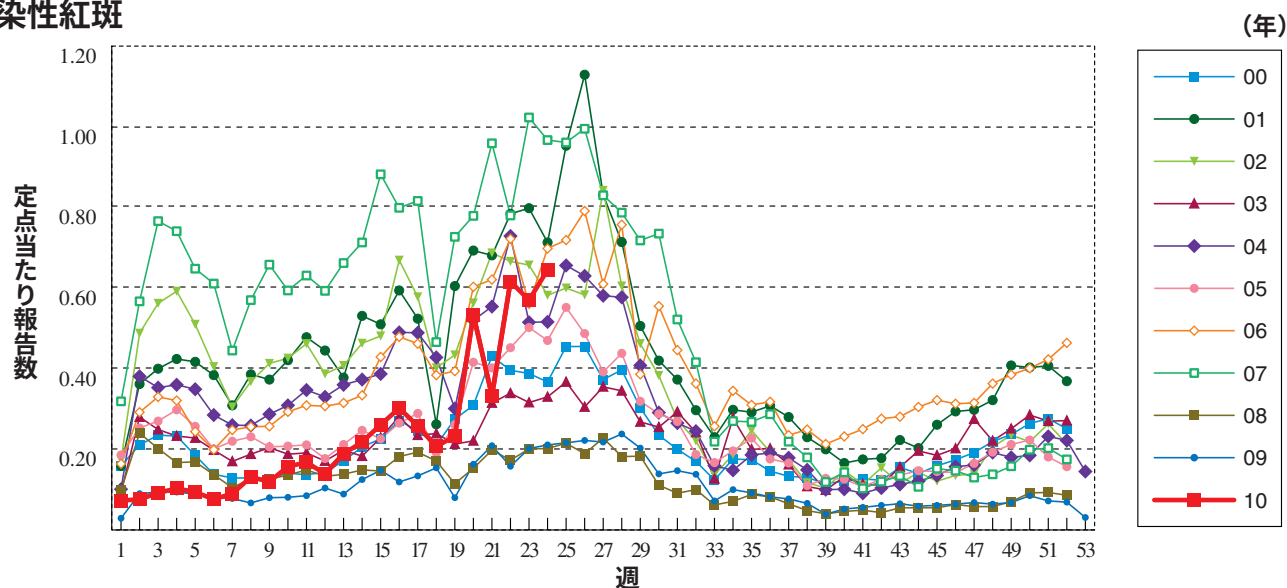
水痘



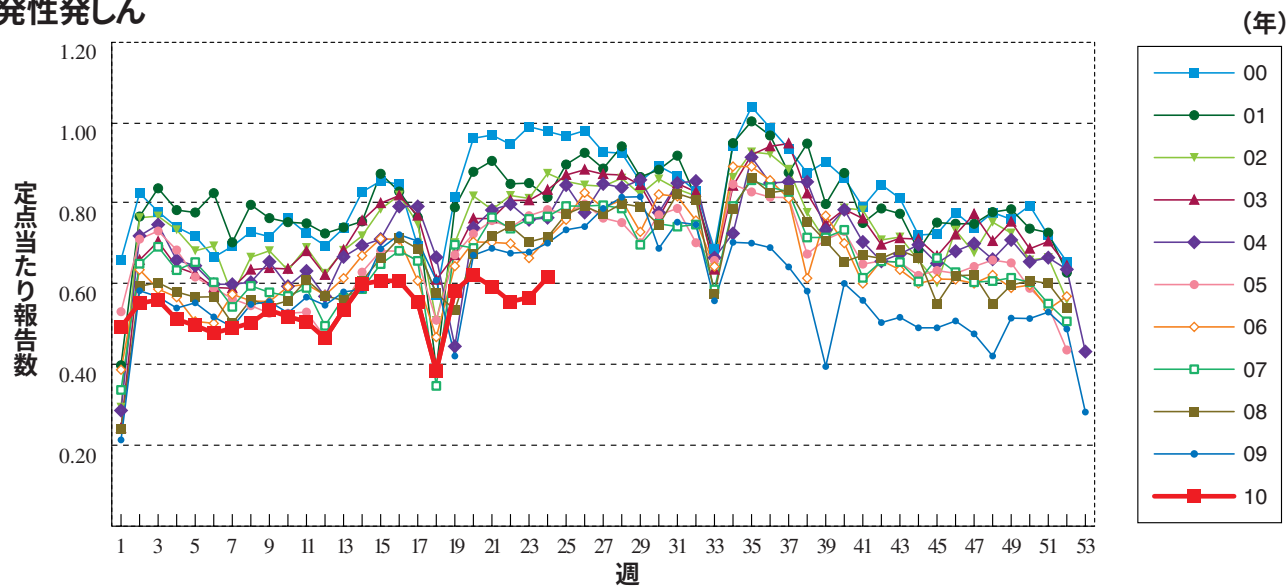
手足口病



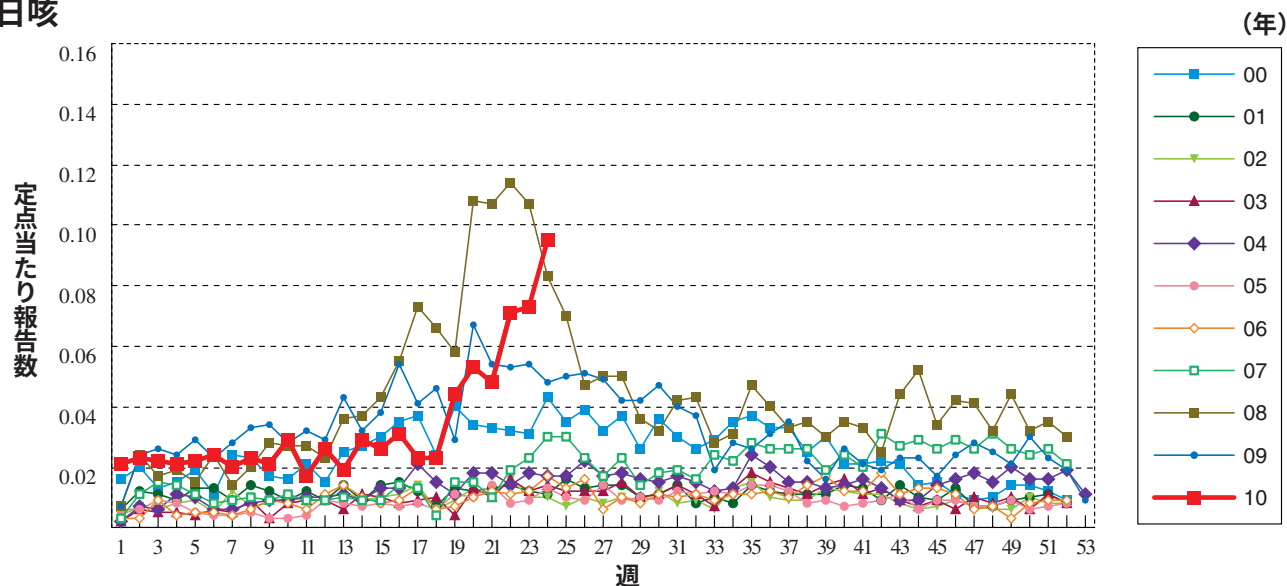
伝染性紅斑



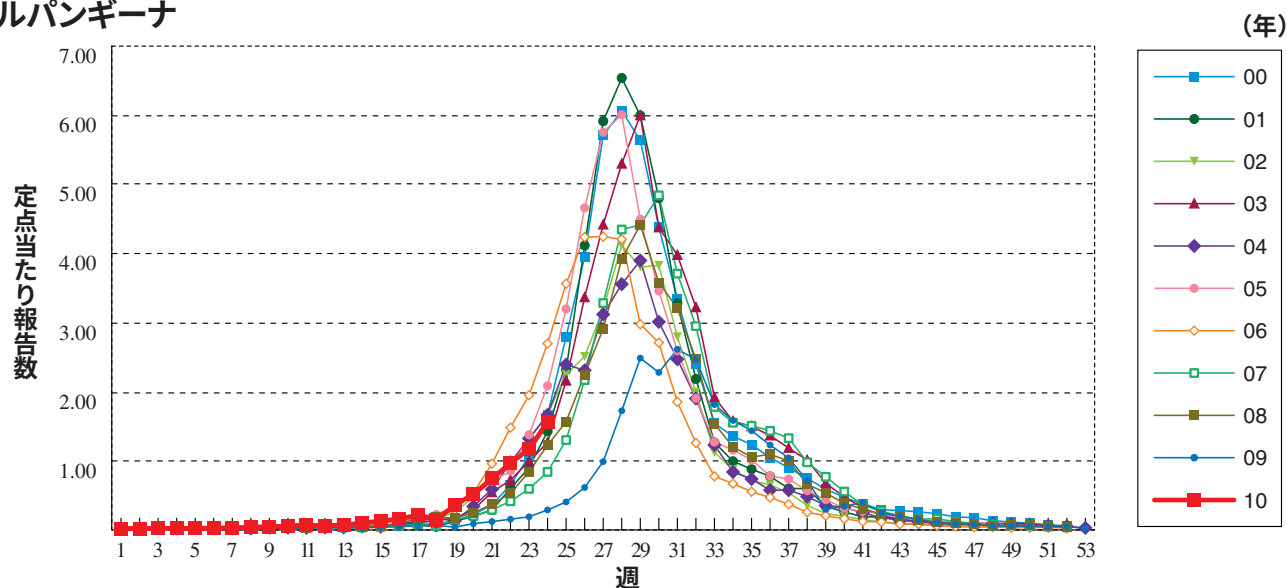
突発性発しん



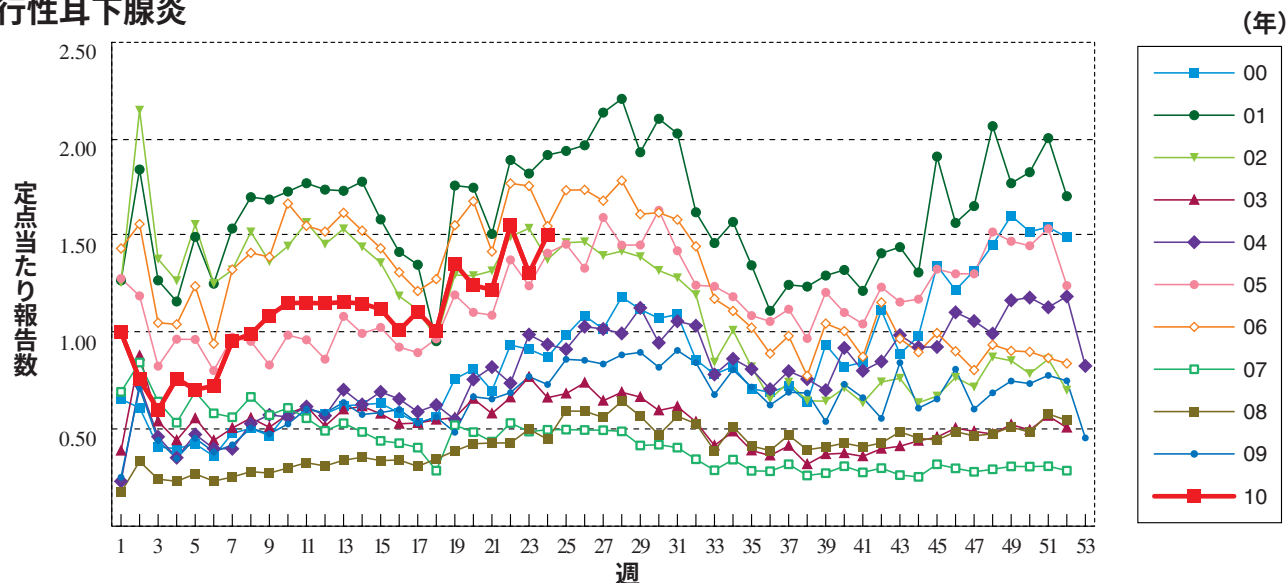
百日咳



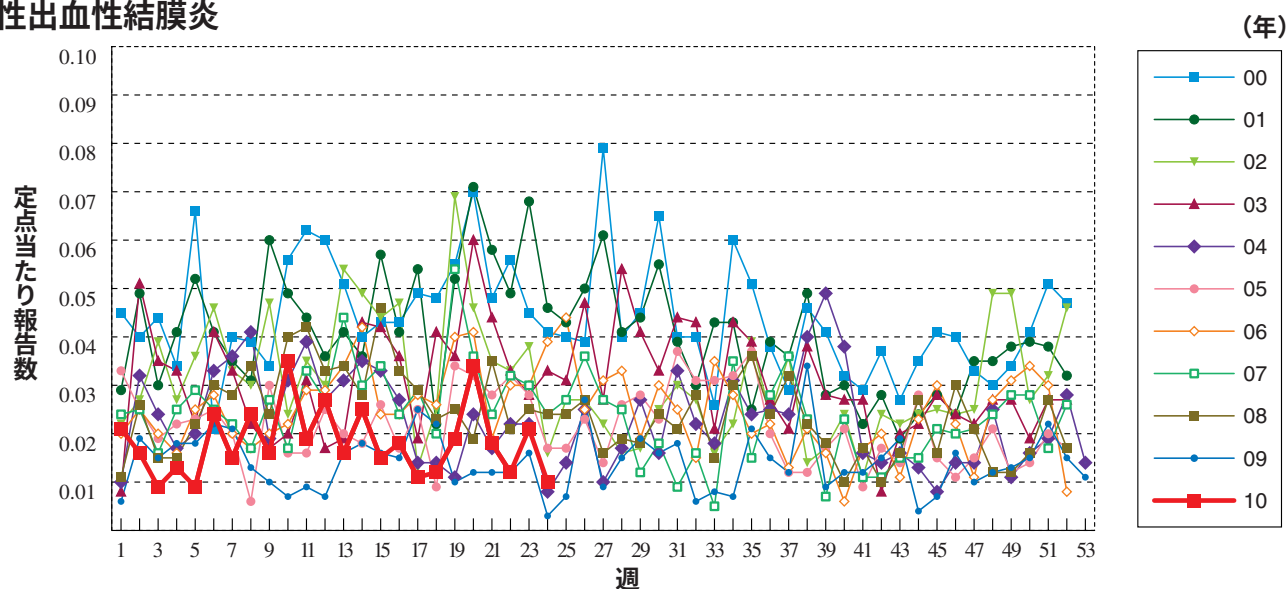
ヘルパンギーナ



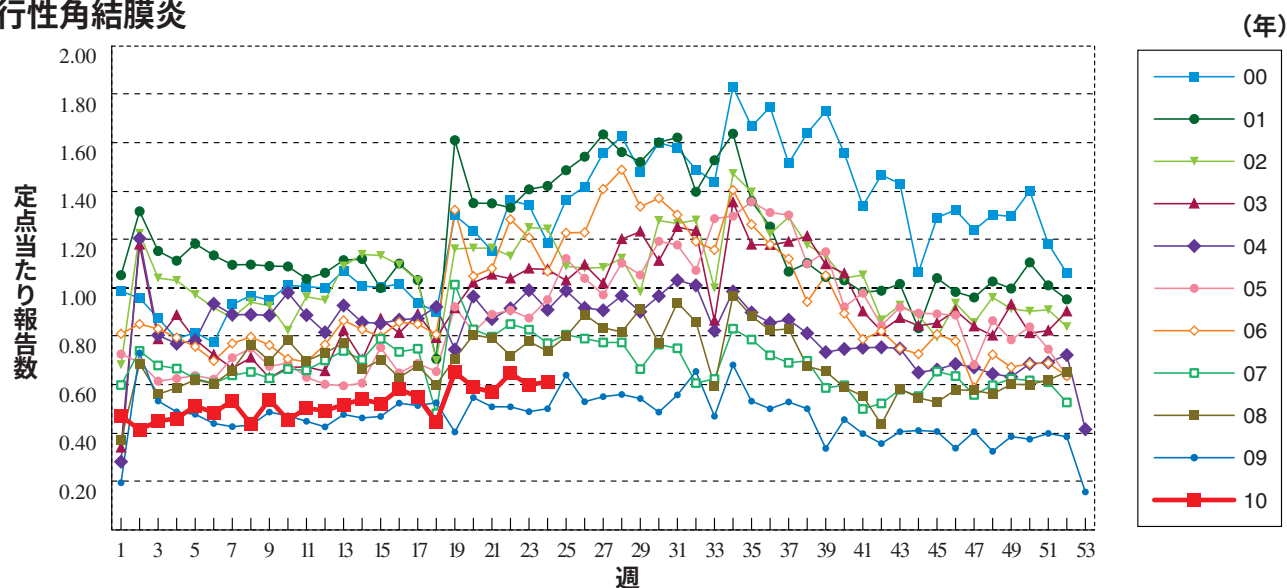
流行性耳下腺炎



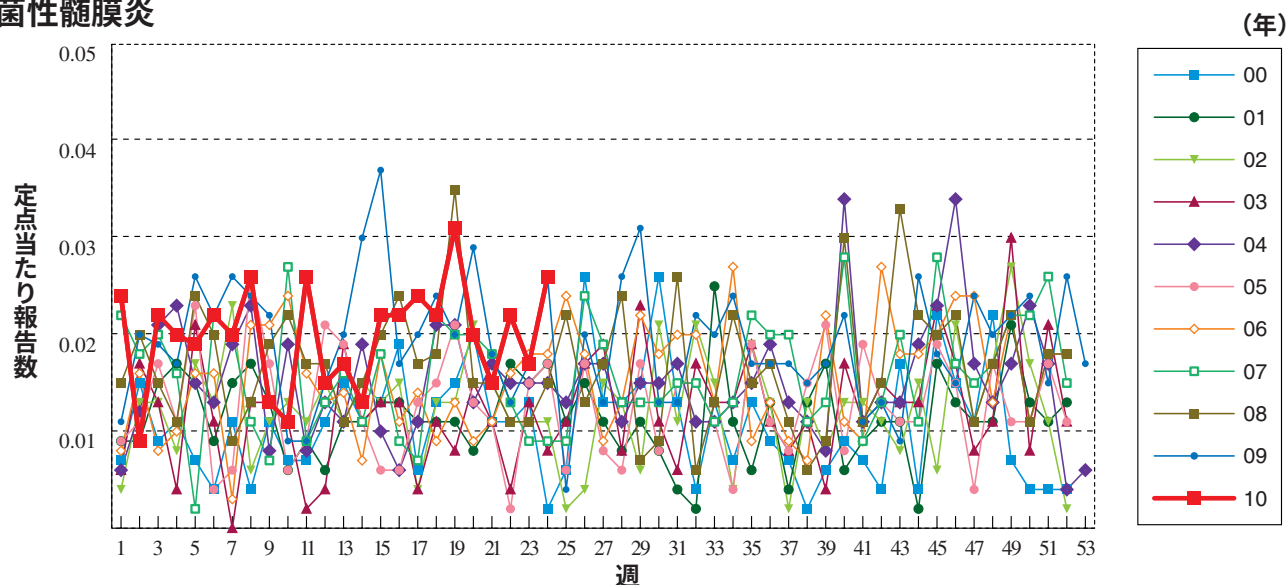
急性出血性結膜炎



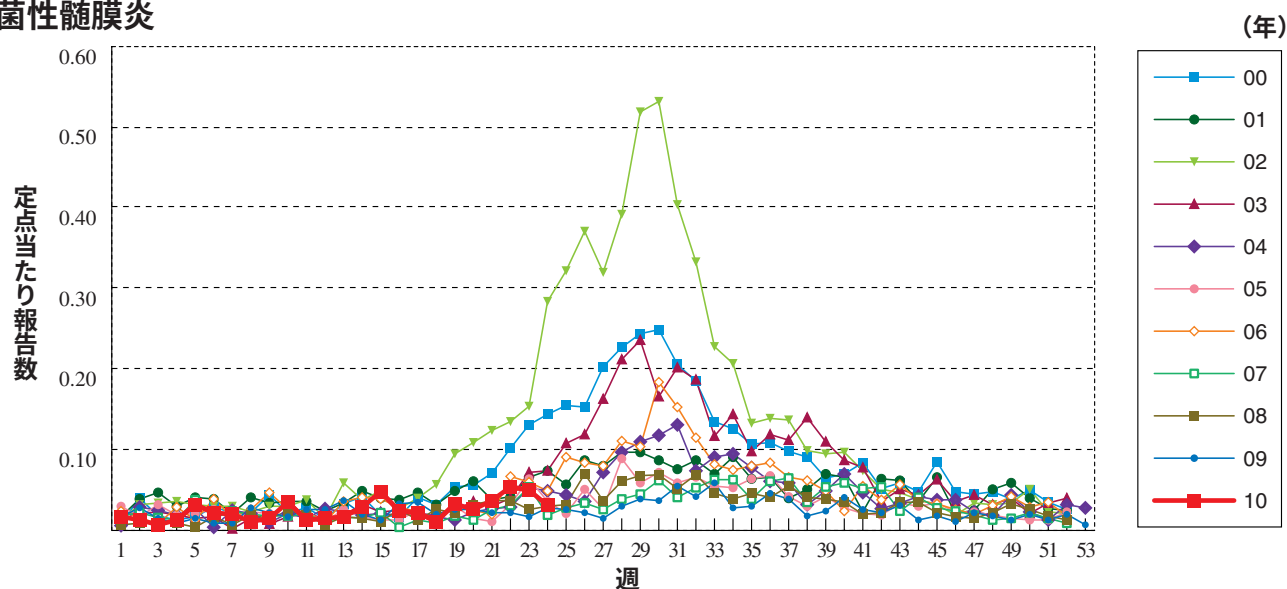
流行性角結膜炎



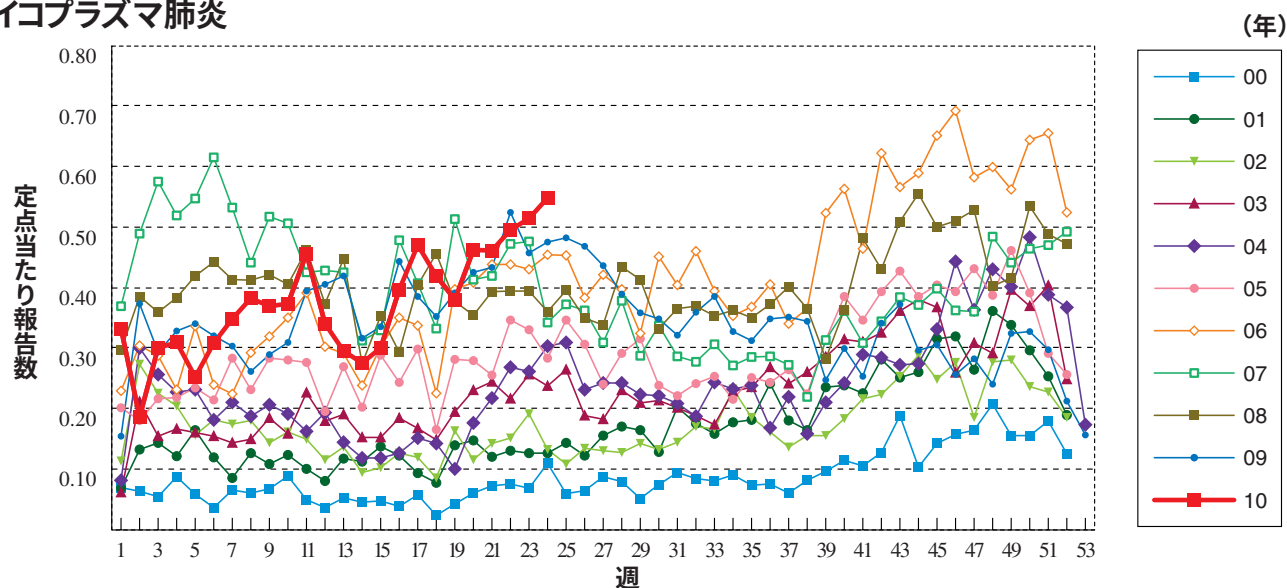
細菌性髄膜炎



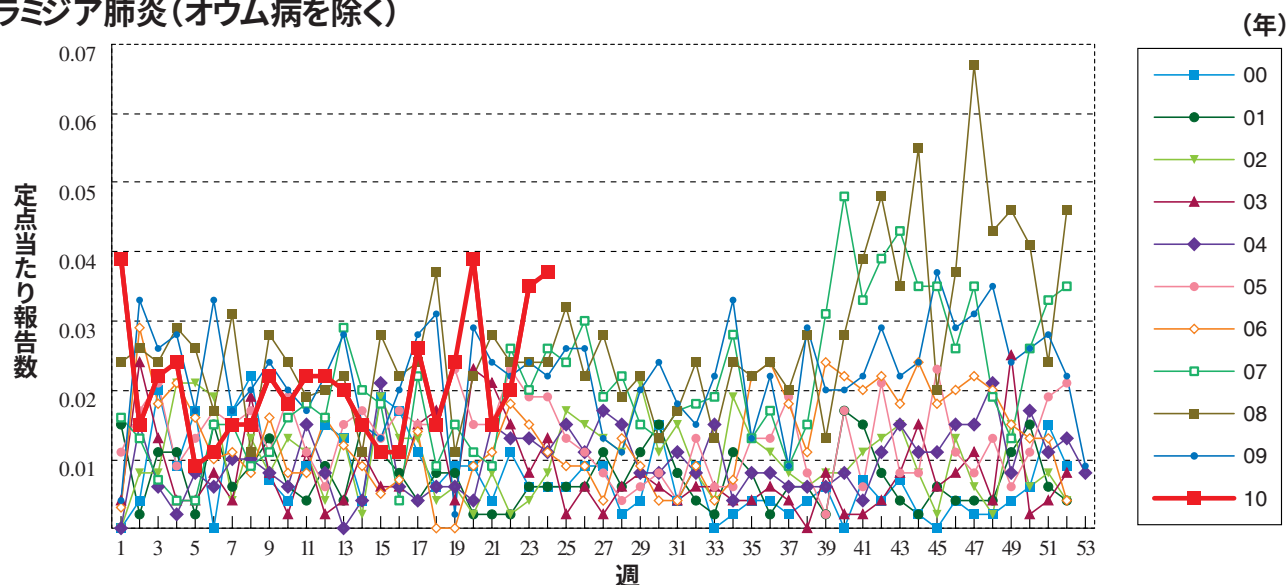
無菌性髄膜炎



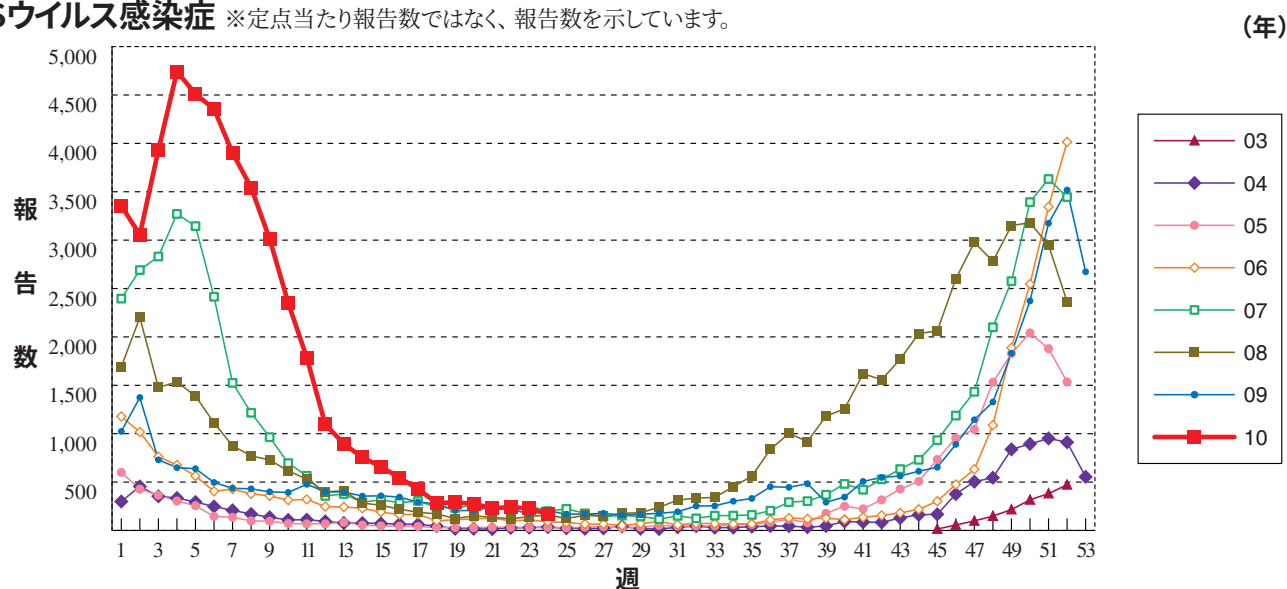
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





24週のデータ

注) 表中の報告数は6月23日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年24週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	328	10789	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	342	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	116	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	78	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	114	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	82	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	71	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	129	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	132	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	95	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	506	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	632	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	1819	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	812	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	155	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	58	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	98	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	68	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	41	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	78	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	204	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	269	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	843	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	156	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	114	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	197	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	523	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	417	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	130	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	108	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	69	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	146	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	242	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	96	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	85	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	148	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	63	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	404	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	84	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	166	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	116	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	100	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	88	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	181	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	150	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	4	3	82	128	920	1	15	1	12	2	31
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	44	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	6	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	13	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	31	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	23	-	2	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	33	12	67	1	3	-	2	-	5	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	1	23	-	2	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	10	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	37	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	43	194	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	1	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	2	-	2	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	55	-	2	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	50	-	2	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	11	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	12	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	25	-	-	-	1	-	1	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	1	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	12	81	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	17	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	6	242	-	5	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	91	4	55
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	16
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	1	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	4	20	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
三重県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	1	4	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年24週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	7	235	-	3	-	-	7	364	3	89	3	113	-	5	3	69
北海道	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	1	4	-	-	-	-	1	5	-	1	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	2	-	4	-	-	-	2
栃木県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	17	-	2	-	5	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	22	-	-	-	17	-	-	1	2
東京都	-	1	1	15	-	2	-	-	-	76	1	19	1	8	-	1	-	8
神奈川県	-	1	-	10	-	-	-	-	1	39	1	6	-	3	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3	-	-	1	9	-	-	1	1
富山県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	1
石川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	7	-	1	-	-	1	5	-	-	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	1	10	-	-	-	-	-	25	-	6	-	5	-	-	-	4
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	2	-	1	-	1	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	7	-	-	-	-	1	12	-	1	-	5	-	-	-	1
大阪府	-	-	1	19	-	-	-	-	-	32	1	7	-	11	-	-	-	4
兵庫県	-	-	1	12	-	-	-	-	1	17	-	8	-	4	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	4	-	4	-	1	-	-	-	1
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	9	-	2	-	4	-	-	-	3
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	1	7	-	-	-	-	1	19	-	3	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	6	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	1	2
沖縄県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	60	16	648	3	38	-	4	-	-	10	255	3	42	-	-	1	45
北海道	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	3
青森県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福島県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-	-	-	-
埼玉県	-	5	2	18	-	2	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	4	-	22	1	1	-	-	-	-	1	14	-	4	-	-	-	-
東京都	-	9	6	209	-	7	-	-	-	-	3	72	-	2	-	-	-	7
神奈川県	1	7	1	26	1	5	-	1	-	-	-	5	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	13	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	6	1	61	-	1	-	1	-	-	1	32	-	2	-	-	-	1
三重県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	2	114	-	3	-	-	-	-	2	21	1	3	-	-	-	3
兵庫県	-	2	2	17	-	2	-	1	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	1	8	1	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
広島県	-	-	-	19	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	21	-	2	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	1	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3
大分県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2010年24週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	48	3	249
北海道	-	-	-	3
青森県	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2
福島県	-	-	-	1
茨城県	-	2	-	5
栃木県	-	-	-	5
群馬県	-	1	-	1
埼玉県	-	2	-	13
千葉県	-	5	-	22
東京都	-	10	1	41
神奈川県	1	3	-	51
新潟県	1	1	-	3
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	3
山梨県	-	-	-	2
長野県	-	-	1	3
岐阜県	-	-	-	4
静岡県	-	-	1	6
愛知県	-	3	-	8
三重県	-	-	-	1
滋賀県	-	5	-	1
京都府	-	-	-	9
大阪府	-	3	-	19
兵庫県	-	3	-	7
奈良県	-	-	-	2
和歌山県	-	1	-	1
鳥取県	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	2
広島県	-	3	-	5
山口県	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	9
佐賀県	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1
鹿児島県	-	2	-	2
沖縄県	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	290	0.06	1127	0.37	5302	1.75	17263	5.69	6715	2.21	5411	1.78	1955	0.64	1870	0.62	288	0.09
北海道	41	0.18	77	0.54	299	2.09	479	3.35	371	2.59	39	0.27	24	0.17	47	0.33	4	0.03
青森県	1	0.02	11	0.26	16	0.38	113	2.69	47	1.12	29	0.69	31	0.74	18	0.43	1	0.02
岩手県	1	0.02	16	0.40	54	1.35	109	2.73	95	2.38	19	0.48	-	-	18	0.45	10	0.25
宮城県	4	0.04	48	0.84	94	1.65	392	6.88	146	2.56	105	1.84	59	1.04	27	0.47	1	0.02
秋田県	-	-	17	0.49	62	1.77	176	5.03	44	1.26	51	1.46	58	1.66	19	0.54	-	-
山形県	1	0.02	18	0.60	123	4.10	172	5.73	68	2.27	64	2.13	18	0.60	23	0.77	2	0.07
福島県	18	0.23	10	0.21	26	0.54	395	8.23	122	2.54	60	1.25	18	0.38	26	0.54	1	0.02
茨城県	-	-	28	0.37	93	1.24	239	3.19	124	1.65	39	0.52	19	0.25	24	0.32	29	0.39
栃木県	-	-	3	0.06	22	0.47	152	3.23	77	1.64	32	0.68	23	0.49	36	0.77	20	0.43
群馬県	2	0.02	10	0.16	87	1.43	389	6.38	84	1.38	123	2.02	6	0.10	26	0.43	-	-
埼玉県	12	0.05	67	0.42	571	3.59	1102	6.93	397	2.50	194	1.22	258	1.62	122	0.77	11	0.07
千葉県	13	0.06	41	0.32	369	2.88	762	5.95	365	2.85	111	0.87	228	1.78	91	0.71	34	0.27
東京都	15	0.05	57	0.39	274	1.85	910	6.15	275	1.86	187	1.26	91	0.61	95	0.64	34	0.23
神奈川県	13	0.04	72	0.35	501	2.44	1233	6.01	457	2.23	173	0.84	312	1.52	145	0.71	32	0.16
新潟県	1	0.01	27	0.44	171	2.80	326	5.34	220	3.61	79	1.30	65	1.07	26	0.43	11	0.18
富山県	-	-	16	0.55	66	2.28	198	6.83	82	2.83	26	0.90	5	0.17	13	0.45	-	-
石川県	-	-	17	0.59	114	3.93	115	3.97	84	2.90	60	2.07	14	0.48	8	0.28	-	-
福井県	3	0.09	10	0.45	91	4.14	175	7.95	73	3.32	91	4.14	53	2.41	12	0.55	1	0.05
山梨県	-	-	5	0.21	30	1.25	98	4.08	34	1.42	5	0.21	28	1.17	7	0.29	3	0.13
長野県	1	0.01	20	0.36	162	2.95	447	8.13	160	2.91	20	0.36	28	0.51	30	0.55	1	0.02
岐阜県	19	0.22	5	0.09	41	0.77	166	3.13	82	1.55	35	0.66	1	0.02	16	0.30	-	-
静岡県	-	-	12	0.14	99	1.15	502	5.84	174	2.02	190	2.21	43	0.50	49	0.57	1	0.01
愛知県	11	0.06	35	0.19	222	1.23	966	5.34	407	2.25	359	1.98	21	0.12	115	0.64	9	0.05
三重県	9	0.13	11	0.24	58	1.29	336	7.47	70	1.56	164	3.64	43	0.96	28	0.62	5	0.11
滋賀県	2	0.04	20	0.63	36	1.13	221	6.91	66	2.06	86	2.69	25	0.78	22	0.69	1	0.03
京都府	11	0.09	13	0.18	85	1.15	449	6.07	137	1.85	159	2.15	23	0.31	24	0.32	-	-
大阪府	7	0.02	65	0.33	343	1.74	1205	6.12	419	2.13	474	2.41	93	0.47	126	0.64	16	0.08
兵庫県	6	0.03	55	0.43	173	1.34	863	6.69	270	2.09	396	3.07	45	0.35	69	0.53	7	0.05
奈良県	-	-	14	0.40	36	1.03	210	6.00	33	0.94	62	1.77	11	0.31	15	0.43	2	0.06
和歌山県	1	0.02	5	0.16	31	1.00	137	4.42	78	2.52	57	1.84	5	0.16	15	0.48	4	0.13
鳥取県	-	-	2	0.11	65	3.42	95	5.00	24	1.26	42	2.21	5	0.26	8	0.42	1	0.05
島根県	7	0.18	9	0.39	35	1.52	204	8.87	47	2.04	29	1.26	4	0.17	13	0.57	1	0.04
岡山県	6	0.07	10	0.19	66	1.22	351	6.50	93	1.72	44	0.81	-	-	26	0.48	2	0.04
広島県	2	0.02	71	0.99	91	1.26	388	5.39	175	2.43	156	2.17	9	0.13	47	0.65	9	0.13
山口県	21	0.30	14	0.29	93	1.90	257	5.24	106	2.16	419	8.55	6	0.12	40	0.82	3	0.06
徳島県	-	-	12	0.50	12	0.50	128	5.33	32	1.33	12	0.50	-	-	20	0.83	-	-
香川県	2	0.04	14	0.50	34	1.21	163	5.82	65	2.32	83	2.96	1	0.04	25	0.89	-	-
愛媛県	-	-	8	0.22	32	0.86	241	6.51	107	2.89	145	3.92	11	0.30	27	0.73	1	0.03
高知県	-	-	4	0.13	19	0.63	112	3.73	67	2.23	182	6.07	6	0.20	16	0.53	3	0.10
福岡県	15	0.08	66	0.55	201	1.68	715	5.96	349	2.91	165	1.38	110	0.92	111	0.93	11	0.09
佐賀県	-	-	12	0.52	19	0.83	51	2.22	50	2.17	20	0.87	16	0.70	25	1.09	-	-
長崎県	-	-	13	0.30	43	0.98	150	3.41	95	2.16	37	0.84	62	1.41	26	0.59	3	0.07
熊本県	7	0.09	18	0.38	45	0.94	291	6.06	72	1.50	63	1.31	47	0.98	65	1.35	2	0.04
大分県	3	0.05	26	0.72	49	1.36	361	10.03	64	1.78	229	6.36	13	0.36	38	1.06	1	0.03
宮崎県	-	-	22	0.61	60	1.67	317	8.81	131	3.64	200	5.56	3	0.08	42	1.17	1	0.03
鹿児島県	15	0.16	16	0.29	74	1.35	308	5.60	105	1.91	88	1.60	14	0.25	29	0.53	3	0.05
沖縄県	20	0.34	5	0.15	15	0.44	94	2.76	72	2.12	8	0.24	-	-	20	0.59	7	0.21

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2010年24週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	4737	1.56	4565	1.51	7	0.01	416	0.61	12	0.03	14	0.03	252	0.55	17	0.04	169
北海道	90	0.63	288	2.01	-	-	18	0.62	-	-	-	-	10	0.43	-	-	41
青森県	27	0.64	64	1.52	-	-	5	0.45	-	-	-	-	18	3.00	-	-	6
岩手県	53	1.33	57	1.43	-	-	10	0.71	1	0.05	2	0.11	14	0.74	1	0.05	7
宮城県	65	1.14	49	0.86	-	-	5	0.42	1	0.08	-	-	25	2.08	-	-	5
秋田県	150	4.29	8	0.23	-	-	1	0.14	-	-	-	-	9	1.13	-	-	3
山形県	13	0.43	32	1.07	-	-	1	0.13	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-
福島県	21	0.44	152	3.17	-	-	4	0.33	1	0.14	1	0.14	25	3.57	-	-	13
茨城県	54	0.72	133	1.77	-	-	21	1.24	-	-	-	-	5	0.38	-	-	1
栃木県	50	1.06	36	0.77	-	-	6	0.50	-	-	1	0.14	2	0.29	-	-	-
群馬県	23	0.38	47	0.77	1	0.07	15	1.00	-	-	1	0.13	12	1.50	-	-	2
埼玉県	240	1.51	377	2.37	-	-	11	0.27	-	-	-	-	31	3.44	1	0.11	3
千葉県	256	2.00	211	1.65	-	-	24	0.73	-	-	-	-	2	0.22	2	0.22	1
東京都	281	1.90	174	1.18	1	0.03	20	0.51	-	-	-	-	3	0.13	1	0.04	9
神奈川県	487	2.38	385	1.88	1	0.02	36	0.84	-	-	-	-	-	-	-	-	7
新潟県	28	0.46	93	1.52	-	-	10	1.11	-	-	-	-	3	0.25	5	0.42	6
富山県	19	0.66	64	2.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	7	1.40	-	-	-
石川県	38	1.31	99	3.41	-	-	6	0.86	-	-	-	-	5	1.00	-	-	1
福井県	42	1.91	21	0.95	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.50	-	-	-
山梨県	12	0.50	14	0.58	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-	1	0.10	-
長野県	65	1.18	68	1.24	-	-	6	0.55	1	0.09	-	-	10	0.91	-	-	1
岐阜県	26	0.49	12	0.23	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.20	-	-	2
静岡県	74	0.86	174	2.02	-	-	5	0.25	-	-	-	-	4	0.44	-	-	2
愛知県	348	1.92	151	0.83	-	-	15	0.45	-	-	-	-	2	0.13	-	-	1
三重県	141	3.13	28	0.62	-	-	5	0.42	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-
滋賀県	51	1.59	31	0.97	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-
京都府	42	0.57	100	1.35	-	-	6	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	286	1.45	294	1.49	-	-	28	0.55	2	0.13	-	-	14	0.93	1	0.07	17
兵庫県	227	1.76	194	1.50	-	-	18	0.51	-	-	1	0.11	2	0.22	-	-	1
奈良県	73	2.09	34	0.97	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	-
和歌山県	74	2.39	114	3.68	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.36	-	-	-
鳥取県	53	2.79	7	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1
島根県	9	0.39	32	1.39	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	44	0.81	37	0.69	-	-	9	0.75	-	-	1	0.20	-	-	-	-	3
広島県	62	0.86	140	1.94	2	0.11	29	1.53	1	0.05	1	0.05	3	0.14	-	-	3
山口県	31	0.63	136	2.78	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.22	-	-	1
徳島県	109	4.54	28	1.17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-
香川県	54	1.93	32	1.14	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1
愛媛県	64	1.73	32	0.86	-	-	12	1.50	-	-	-	-	4	0.67	-	-	1
高知県	51	1.70	6	0.20	-	-	2	0.67	1	0.14	-	-	3	0.43	-	-	-
福岡県	282	2.35	209	1.74	1	0.04	10	0.38	1	0.07	-	-	4	0.27	1	0.07	3
佐賀県	47	2.04	15	0.65	-	-	3	0.75	-	-	-	-	8	1.33	-	-	1
長崎県	73	1.66	25	0.57	-	-	1	0.13	-	-	-	-	2	0.17	2	0.17	1
熊本県	86	1.79	68	1.42	1	0.11	15	1.67	1	0.07	3	0.20	1	0.07	-	-	-
大分県	111	3.08	61	1.69	-	-	6	1.20	-	-	-	-	1	0.09	-	-	-
宮崎県	153	4.25	117	3.25	-	-	12	2.00	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	5
鹿児島県	139	2.53	38	0.69	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	10
沖縄県	13	0.38	78	2.29	-	-	22	2.20	1	0.14	-	-	6	0.86	2	0.29	9

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2010年24週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2010年24週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第12巻 第24号 2010年7月2日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。